

令和 7 年度

事業報告書



社会福祉法人吉幸会

特別養護老人ホーム	みろく苑
ショートステイ	みろく苑
特別養護老人ホーム	ひだまり
ショートステイ	ひだまり
特別養護老人ホーム	野辺地ホーム
ショートステイ	野辺地ホーム
特別養護老人ホーム	ラ・メール白山台
ショートステイ	ラ・メール白山台
特別養護老人ホーム	ラ・メール小中野
ショートステイ	ラ・メール小中野
特別養護老人ホーム	ゆうなぎの里
ショートステイ	ゆうなぎの里

特別養護老人ホーム	しおさい岬
ショートステイ	しおさい岬
特別養護老人ホーム	能舞の里
ショートステイ	能舞の里
特別養護老人ホーム	いちいの森
ショートステイ	いちいの森
デイサービスセンター	みろく苑
グループホーム	みろく苑
グループホーム	みろくの郷
居宅介護支援センター	みろくの郷
佐井村保育所	
南郷地区高齢者支援センター	なんごう

目 次

1. 法人の概要	2～3
2. 沿 革	4～5
吉幸会の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）	6
4. 職員の状況	
① 職員配置の状況	7～13
② 職員の資格取得状況	14
5. 事業実施報告	15～45
6. 運営推進会議の状況	46～52
7. 稼働状況	53～55
8. 利用者の状況	56～62
9. 各事業の行事实施状況	
①～④行事の実施状況（事業所別）	63～66
⑤～⑧行事食の提供状況（事業所別）	67～72
10. 各事業の研修実施状況	
①～⑤内部研修実施状況（事業所別）	73～78
⑥～⑩外部研修受講状況（事業所別）	79～86
⑪主な会議・委員会・勉強会等の実施状況	87～88
⑫法人の取り組み	89

1. 法人の概要

(1) 法人名 社会福祉法人 吉幸会

(2) 法人所在地 〒039-1522 青森県八戸市北白山台五丁目 2 番 5 号

(3) 開設者 上 山 幸 吉 (初代理事長)

(4) 歴代理事長

初代 上 山 幸 吉 (平成 12 年 10 月 12 日 ~ 平成 18 年 10 月 11 日)

第 2 代 上 山 貢 (平成 18 年 10 月 12 日 ~ 現 在)

(5) 歴代施設長等

○ 特別養護老人ホームみろく苑 (田子町)

初代施設長 畑 山 利 雄 (平成 13 年 4 月 16 日 ~ 平成 16 年 10 月 11 日)

第 2 代施設長 古 川 茂 (平成 16 年 10 月 12 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

第 3 代施設長 武 部 勝 信 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 4 月 30 日)

第 4 代施設長 山 村 文 雄 (平成 23 年 5 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日)

第 5 代施設長 五 十 嵐 潤 (平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日)

第 6 代施設長 高 舘 誠 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日)

第 7 代施設長 森 裕 一 (令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日)

第 8 代施設長 安ヶ平 学 (令和 5 年 4 月 1 日 ~ 現 在)

○ 特別養護老人ホームゆうなぎの里 (佐井村)

初代施設長 宮 野 政 彦 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

第 2 代施設長 藤 田 隆 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日)

第 3 代施設長 東 出 守 男 (令和 8 年 4 月 1 日 ~ 現 在)

○ 佐井村保育所 (佐井村)

初代保育所長 岡 本 良 夫 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 8 月 31 日)

第 2 代保育所長 樋 口 秀 視 (平成 22 年 9 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

第 3 代保育所長 番 匠 憲 隆 (平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)

第 4 代保育所長 樋 口 隆 文 (平成 24 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 12 月 31 日)

第 5 代保育所長 石 澤 尚 人 (令和 4 年 1 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 13 日)

第 6 代保育所長 内 山 祐 三 (令和 5 年 3 月 14 日 ~ 現 在)

○ 特別養護老人ホームひだまり (五戸町)

初代施設長 玉 川 貴 広 (平成 25 年 7 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

第 2 代施設長 古 川 茂 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 10 月 31 日)

第 3 代施設長 玉 川 貴 広 (平成 28 年 11 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)

第 4 代施設長 新 井 田 壽 弘 (平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日)

第 5 代施設長 川 村 広 志 (令和 7 年 4 月 1 日 ~ 現 在)

○ 特別養護老人ホーム能舞の里 (東通村)

統括管理者 川 上 俊 雄 (平成 25 年 8 月 8 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日)

初代施設長 菊 池 徳 弥 (平成 25 年 8 月 8 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日)

第 2 代施設長 川 上 俊 雄 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日)

第 3 代施設長 川 村 哲 也 (平成 31 年 4 月 1 日 ~ 現 在)

○ 特別養護老人ホームしおさい岬 (大間町)

初代施設長 伊 藤 健 一 (平成 29 年 7 月 18 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日)

第 2 代施設長 傳 法 正 広 (令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 9 月 30 日)

第 3 代施設長 新 田 錠 二 (令和 4 年 10 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日)

第 4 代施設長 木 下 裕 次 (令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日)

第 5 代施設長 藤 田 隆 (令和 8 年 4 月 1 日 ~ 現 在)

- 特別養護老人ホームいちいの森（東通村）
 - 初代施設長 坂 本 茂 樹（平成30年10月1日～令和4年9月30日）
 - 第2代施設長 大 舘 富 雄（令和4年10月1日～令和8年3月31日）
 - 第3代施設長 角 本 晃（令和8年4月1日～現在）

- 特別養護老人ホーム野辺地ホーム（野辺地町）
 - 初代施設長 亀 田 満 春（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
 - 第2代施設長 川 代 弘（令和2年4月1日～令和5年3月31日）
 - 第3代施設長 岩 田 弘 志（令和5年4月1日～現在）

- 特別養護老人ラ・メール白山台（八戸市）
 - 初代施設長 高 舘 誠（令和2年5月25日～現在）

- 特別養護老人ラ・メール小中野（八戸市）
 - 初代施設長 高 舘 誠（令和3年5月25日～現在）

- 南郷地区高齢者支援センターなんごう（八戸市）
 - 初代センター長 出 河 守 康（令和5年4月1日～令和7年3月31日）
 - 第2代センター長 菅 原 政 子（令和7年4月1日～現在）

2. 沿革

○平成 12 年 10 月 5 日	知事より法人設立の認可を受ける。
○平成 12 年 10 月 6 日	法人について登記し社会福祉法人吉幸会（田子町）が設立される。
○平成 13 年 4 月 19 日	特養（29 床）に、SS（10 床）、GH（1 ユニット：9 床）、デイ（23 名）を併設するみろく苑が竣工。 知事より老人福祉法に定める特養みろく苑（田子町）として認可を受ける。
○平成 13 年 4 月 20 日	みろく苑（特養、SS、デイ、GH）が知事より介護保険事業所として指定を受け開設する。
○平成 13 年 10 月 1 日	GH みろく苑に B 棟を増築、2 ユニット（18 床）となる。
○平成 14 年 2 月 1 日	デイサービスみろく苑の利用定員を 10 名に変更。
○平成 14 年 12 月 1 日	GH みろく苑に C 棟を増築、3 ユニット（27 床）となる。
○平成 15 年 6 月 10 日	デイサービスみろく苑の利用定員を 15 名に変更。
○平成 17 年 3 月 31 日	GH（18 床）に居宅介護支援センターを併設するみろくの郷が竣工。
○平成 17 年 6 月 1 日	知事より、居宅介護支援センターみろくの郷として指定を受け開設する。
○平成 17 年 6 月 2 日	知事より、グループホームみろくの郷（茂市地区）として指定を受け開設する。
○平成 18 年 1 月 20 日	デイサービスみろく苑の利用定員を 23 名に変更。
○平成 18 年 4 月 1 日	介護保険法改正により介護予防サービス、地域密着型サービスが創設される。 特養みろく苑、GH みろく苑、GH みろくの郷が地域密着型サービス事業所へ移行となる
○平成 19 年 2 月 21 日	知事より、うらら居宅介護支援センターとして指定を受ける。
○平成 19 年 3 月 1 日	うらら居宅介護支援センター（三戸町）を開設し事業開始する。
○平成 20 年 3 月 31 日	知事より老人福祉法に定める特別養護老人ホームゆうなぎの里（佐井村）として認可を受ける。
○平成 20 年 4 月 1 日	佐井村、風間浦村、大間町より介護保険法に定めるユニット型地域密着型介護老人福祉施設（29 床）として指定を受け特別養護老人ホームゆうなぎの里を開設する。
○平成 20 年 4 月 20 日	特養みろく苑、SS みろく苑、デイサービスみろく苑、GH みろく苑が指定の更新を受ける。
○平成 20 年 4 月 28 日	知事より SS ゆうなぎの里（10 床）の指定を受け事業開始する。
○平成 22 年 4 月 1 日	佐井村より指定管理者制度による保育所運営の委託を受け、佐井村保育所の事業を開始する。
○平成 22 年 5 月 1 日	ゆうなぎの里がむつ市より介護保険事業所（2 床限定）としての指定を受ける。
○平成 24 年 4 月 1 日	田子町長より GH みろくの郷かぐち（9 床）として新たに指定を受け、GH みろくの郷が「けんど」「かぐち」のユニットごとに事業所となる。
○平成 25 年 7 月 1 日	五戸町に特養ひだまり（29 床）、SS ひだまり（10 床）を開設。
○平成 25 年 8 月 8 日	東通村に特養能舞の里（29 床）、SS 能舞の里（10 床）を開設。
○平成 26 年 4 月 1 日	特養みろく苑を増床し定員を 41 名に変更。県より広域型の指定を受け、SS と併せて 60 床となる。
○平成 26 年 4 月 23 日	法人本部の所在地を「五戸町字苗代沢 3 番 660」に変更し、法人が五戸町に移転となる。
○平成 27 年 4 月 1 日	佐井村保育所で子育て支援センター事業の委託を受け事業開始する。
○平成 27 年 8 月 1 日	特養みろく苑を 9 床増床し、同時に SS を 9 床減床して、特養 50 床、SS10 床となる。
○平成 28 年 4 月 1 日	佐井村保育所で一時預かり事業の委託を受け事業開始する。
○平成 29 年 7 月 18 日	大間町に特養しおさい岬（29 床）、SS しおさい岬（10 床）を開設。
○平成 30 年 4 月 1 日	特養ゆうなぎの里を 10 床増床し入所定員を 39 名に変更。県知事より広域型の特養として指定を受け、同時に SS を 10 床減床して SS が空床利用のみとなる。

○平成 30 年 10 月 1 日	東通村に特養いちいの森（29 床）、SS いちいの森（空床利用のみ）を開設する。
○平成 31 年 4 月 1 日	北北上北広域事務組合より事業移譲を受け、野辺地町に特養野辺地ホーム（50 床）、SS 野辺地ホーム（4 床）を運営する。
○令和 2 年 4 月 1 日	特養野辺地ホームを枇杷野地区に新築・移転し、特養を 30 床増床。SS と合わせて定員 84 床となる。
○令和 2 年 5 月 25 日	八戸市に特養ラ・メール白山台（29 床）、SS ラ・メール白山台（10 床）を開設。
○令和 3 年 5 月 25 日	八戸市に特養ラ・メール小中野（29 床）、SS ラ・メール小中野（10 床）を開設。
○令和 5 年 4 月 1 日	八戸市より委託を受けて「高齢者支援センターなんごう」の運営を開始。
○令和 6 年 4 月 30 日	三戸町にうらら居宅介護支援センターの事業廃止届を提出し事業を廃止とした。
○令和 7 年 4 月 1 日	法人本部の所在地を「八戸市北白山台五丁目 2 番 5 号」に変更し、法人が八戸市に移転となる。
○令和 7 年 7 月 1 日	田子町に GH みろくの郷けんど及び GH みろく郷かぐちの各ユニットを統合する旨申請し、GH みろくの郷となる。
○令和 8 年 4 月 1 日	知事より SS いちいの森（6 床）の指定を受け事業開始する。

3. 吉幸会の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）

『吉幸会のミッション（理念）』 ～法人が果たすべき役割～

「私たちは、健やかな育成と日常の為、
創意工夫して利用者を支援します」

『吉幸会のビジョン（理想）』 ～法人のあるべき姿～

「常に志を高く掲げ、既成の概念にとらわれることなく
挑戦する地域の創造者となろう」
「誠実を旨とし、笑顔と創意工夫をもって
利用者のサポーターとなろう」

『吉幸会のバリュー（倫理）』 ～職員の持つべき姿勢～

1. 我々はプロであることを自覚し、誇りと責任を持ちましょう
2. 働くことで誰かの役に立つ素晴らしさ。
その喜びと感動を忘れない
3. 慢心せずに仕事を見つめ、常に発想と工夫をしましょう
4. 「変化」を恐れず研鑽を重ね、自らの信念を磨きましょう
5. 会社・組織は「人の和」であると知り、和を尊びましょう
6. 常に謙虚な心を失うことなく万物へ感謝し、
礼節をわきまえる心を持ちましょう。
7. 自ら主張し、それ以上に他者の主張に耳を傾けましょう
8. 「わくわく」心を忘れず、
職業人生を笑顔でエンジョイしましょう

4. 職員の状況

① 職員配置の状況（令和8年3月31日現在）

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
法人本部	本 部 長	1				1	
	事 務 局 長	1				1	
	事 務 局 次 長	(1)		1		2	ラ・メール施設長と兼務
	事 務 リ ー ダ ー			(1)		1	ゆうなぎの里事務員と兼務
	管 理 栄 養 士			1			
	事 務 員	1			1	2	
	特 別 推 進 役	1				1	三八上北地区統括と兼務
	むつ下北地区統括	1				1	
	三八上北地区統括	(1)				(1)	
計		5 (2)	0	2 (1)	1	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 みろく苑 (SS含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			3		3	
	主 任			1		1	
	フロアチーフ			1		1	
	生 活 相 談 員			(1)		(1)	主任兼務
	介護支援専門員			(1)		(1)	主任・生活相談員兼務
	管 理 栄 養 士	1				1	
	看 護 職 員			2	1	3	
	機能訓練指導員			(2)	(1)	(3)	看護職員兼務
	リ ー ダ ー			(2)		(2)	介護職員兼務
	介 護 職 員	3		17	3	23	フロアチーフ リーダー兼務
	医 師					1	田子診療所
	介 護 補 助 員			2	1	3	
	清 掃 員	3		1		4	
	運転手・用務員	1				1	
計		9		27 (6)	5 (1)	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
デイサービス みろく苑	施 設 長	1				1	
	管 理 者	(1)					施設長兼務
	主 任			(1)		(1)	生活相談員兼務
	生 活 相 談 員			1 (2)		1 (2)	主任兼務1名 介護職員兼務2名
	看 護 職 員			1		1	機能訓練指導員兼務
	機能訓練指導員			(1)		(1)	看護職員兼務
	介 護 職 員	2		4		4 (2)	生活相談員兼務2名
	運 転 手		1			1	用務員兼務
	用 務 員		(1)			(1)	運転手兼務
計		3 (1)	1 (1)	6 (5)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
グループホーム みろく苑	管 理 者			1		1	
	主 任			(1)		(1)	管理者及び介護職員を兼務
	フロアチーフ			(1)		(1)	介護支援専門員、リーダー、 介護職員兼務
	リ ー ダ ー	(1)		(2)		(3)	フロアチーフ、介護支援専門 員、介護職員兼務
	介護支援専門員			(1)		(1)	フロアチーフ、リー ダー、介護職員兼務
	計画作成担当者	(1)		(1)		(2)	介護職員兼務
	介 護 職 員	2 (1)		18 (3)	1	21 (4)	
	計	2 (3)	0	19 (9)	1	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
グループホーム みろくの郷	主 任			1		1	
	フロアチーフ			1		1	
	介護支援専門員			(1)		(1)	主任兼務
	リ ー ダ ー			(2)		(2)	介護職員兼務
	介 護 職 員	4		9 (3)	1	14 (3)	主任・フロアチーフ・ リーダー兼務
	計	4	0	11 (6)	1	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
居宅介護支援センター みろくの郷	管 理 者			1 (1)		1	介護支援専門員を兼務
	介護支援専門員	1		1 (1)		2	主任を兼務
	計	1	0	2 (2)	0	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 ゆうなぎの里 (SS含む)	施 設 長	1				1	
	副 施 設 長	1				1	
	主 任			1		1	
	事 務 員			2		2	
	生 活 相 談 員			(1)		(1)	主任及び介護支援専門員を兼務
	介護支援専門員			(1)		(1)	主任及び生活相談員を兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			2		2	
	機能訓練指導員			(2)		(2)	看護職員兼務
	フロアチーフ			1		1	
	リ ー ダ ー	1		3		4	介護職員兼務
	介 護 職 員	0 (1)		15 (4)		15 (5)	フロアチーフ兼務 ユニットリーダー兼務
	医 師		1			1	大間病院
	介 助 員				2	2	
計		3 (1)	1	24 (8)	2	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 ひだまり (SS含む)	施 設 長	1				1	
	副 施 設 長						
	事 務 員	1 (1)		1		2 (1)	主任兼務
	主 任	1					事務兼務
	フロアチーフ						
	生 活 相 談 員	1				1	介護支援専門員兼務
	介護支援専門員	(1)					生活相談員兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			2	1	3	
	機能訓練指導員			(1)		(1)	看護職員兼務
	リ ー ダ ー	1		3		4	介護職員兼務
	介 護 職 員	3 (1)		10 (3)	1	13 (4)	リーダー兼務
	医 師		1			1	ほそごえハートクリニック
	介 助 員			(1)	(1)	(2)	
	清 掃 員			1	1	2	
計		8 (3)	1	18 (5)	3 (1)	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 能舞の里 (SS含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			2		2	
	主 任			1		1	
	フロアチーフ			1		1	
	生 活 相 談 員			1		1	介護支援専門員兼務
	介護支援専門員			(1)		(1)	生活相談員兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			2		2	
	機能訓練指導員			(2)		(2)	看護職員兼務
	リ ー ダ ー	(3)		(2)		(5)	介護職員兼務
	介 護 職 員	4		16		20	フロアチーフ兼務 リーダー兼務
	医 師		1			1	東通診療所医師
	調 理 員			4	2	6	
	清 掃 員				3	3	
計		5 (3)	1	28 (5)	5	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 しおさい岬 (SS含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			2		2	
	フロアチーフ			(1)		(1)	
	生 活 相 談 員				1	1	
	介護支援専門員				(1)	(1)	生活相談員兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			1	3	4	
	機能訓練指導員			(1)		(1)	看護職員兼務
	リ ー ダ ー			(2)		(2)	
	介 護 職 員	7		10	3	20	フロアチーフ兼務 リーダー兼務
	医 師		1			1	大間病院
	清 掃 員				2	2	
計		8	1	14 (4)	9 (1)	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 いちいの森 (SS含む)	施 設 長	1				1	
	副 施 設 長						
	事 務 長	1				1	
	事 務 員			1		1	
	主 任			1		1	
	生 活 相 談 員			(1)		(1)	主任兼務
	介護支援専門員			(1)		(1)	主任兼務
	栄 養 士						
	看 護 職 員	1		1		2	
	機能訓練指導員	(1)		(1)		(2)	看護職員兼務
	介 護 職 員	2		11	1	14	
	医 師		1			1	東通村診療所
計		5 (1)	1	14 (3)	1	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
特養 野辺地ホーム (SS含む)	施 設 長	1				1	
	事 務 員			2		2	
	主 任			1		1	生活相談員・介護支援専門員兼務
	フロアチーフ			1		1	介護職員兼務
	生 活 相 談 員			1 (1)		1 (1)	主任及び介護支援専門員兼務
	介護支援専門員			(2)		(2)	主任及び生活相談員兼務
	栄 養 士			1		1	
	看 護 職 員			4	1	5	
	機能訓練指導員			(4)			看護職員兼務
	リ ー ダ ー	1		1		2	介護職員兼務
	介 護 職 員	4 (1)	1	13 (2)	2	20 (3)	フロアチーフ兼務、リーダー兼務
	医 師		1				公立野辺地病院
	介 助 員			1	1	2	
	調 理 員			6	1	7	
	清 掃 員	1		2		3	
計		7 (1)	2	33 (9)	5	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養 ラ・メール 白山台 (SS含む)	施 設 長	1				1	ラ・メール小中野兼務
	事 務 員			2		2	
	主 任	(1)				(1)	ラメール小中野主任 兼務
	フロアチーフ			1		1	
	生 活 相 談 員			1		1	介護支援専門員兼務
	介護支援専門員			(1)		(1)	生活相談員兼務
	管 理 栄 養 士			1		1	ラ・メール小中野兼務
	看 護 職 員			3		3	機能訓練指導員兼務
	機 能 訓 練 指 導 員			(2)		(2)	看護職員兼務
	リ ー ダ ー	1		1		2	介護職員兼務
	介 護 職 員	2 (1)		10 (2)	2	14 (3)	フロアチーフ兼務 リーダー兼務
	医 師		1			1	ホームケアクリニックは ちのへ
	清 掃 員				2	2	
計		4 (2)	1	19 (5)	4	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数 (職種別)	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤		
特養 ラ・メール 小中野 (SS含む) ※サテライト型特養	施 設 長	(1)				(1)	ラ・メール白山台と兼務
	事 務 員			1		1	
	主 任	1				1	ラ・メール白山台と兼務
	生 活 相 談 員	(1)		1		1 (1)	主任兼務
	介護支援専門員	(1)		(1)		(2)	主任兼務・生活相談員兼務
	管 理 栄 養 士			(1)		(1)	ラ・メール白山台と兼務
	看 護 職 員			2		2	機能訓練指導員兼務
	機 能 訓 練 指 導 員			(1)		(1)	看護職員兼務
	リ ー ダ ー			1		1	介護職員兼務
	介 護 職 員	2 (1)		11 (1)	1	14 (2)	リーダー兼務
	医 師		1			1	ホームケアクリニックは ちのへ(白山台も兼務)
	清 掃 員				2	2	
計		3 (4)	1	16 (4)	3	※ () は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
佐井村保育所	所 長	1				1	
	主 任 保 育 士			1		1	
	チー ム リー ダー			2		2	
	保 育 士			1	4	5	
	支援センター担当				1	1	
	保 育 助 手						
	調 理 師			1		1	
	調 理 補 助				2	2	
	運転手兼用務員		1			1	
	計	1	1	5	7	※（ ）は兼務の者	

	職 名	男		女		配置数	備 考
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	(職種別)	
高齢者支援センター なんごう	施 設 長			1		1	看護師と兼務
	管 理 者					0	
	事 務 員		0.2			0.2	
	フロアチーフ						
	主任介護支援専門員			1		1	主任介護支援専門員兼務
	看 護 師 (保健師任用)			1		1	介護予防支援事業所には 主任介護支援専門員として登録
	社 会 福 祉 士						
	計		0.2	3		※（ ）は兼務の者	

法人合計	男		女		備考
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
	68 (21)	12 (11.2)	241 (72)	47 (3)	職員総数368名 (嘱託医8名含む)

②職員の資格取得状況(令和8年3月31日現在)

	男	女	計	(内訳) 地区別人数		備考
				三八上北	下 北	
介護支援専門員	8	22	30	24	6	
正 看 護 師	0	12	12	11	1	
准 看 護 師	1	17	18	8	10	
社 会 福 祉 士	1	0	1	1	0	
介 護 福 祉 士	34	82	116	80	36	
社 会 福 祉 主 事	4	4	8	5	3	
ヘルパー 1 級	0	3	3	1	2	
ヘルパー 2 級	9	35	44	27	17	
実 務 者 研 修	16	34	50	39	11	
初 任 者 研 修	11	29	40	35	5	
管 理 栄 養 士	1	3	4	3	1	
栄 養 士	1	6	7	2	5	
衛 生 管 理 者	1	0	1	1	0	
甲種防火管理者	15	3	18	10	8	
認知症開設者 研修修了者	0	0	0	0	0	
認知症管理者 研修修了者	1	8	9	8	1	
認知症リーダー 研修修了者	2	6	8	6	2	
認知症実践者 研修修了者	11	34	45	43	2	
ユニットリーダー 研修修了者	7	16	23	5	18	
介護職員基礎研修	0	3	3	0	3	
介護福祉士ファースト ステップ研修修了者	0	3	3	3	0	
保 育 士	0	9	9	0	9	
調 理 師	0	1	1	1	0	

5. 事業実施報告

法人運営

○令和7年度事業の概要

令和7年度は、ウクライナ戦争や中東における石油危機など世界情勢の不安定化の影響から、エネルギー価格や原材料費の高騰が世の中のあらゆる物価を押し上げるコスト高の長期化や、人口減社会による人手不足感が大きく高まる中の賃金上昇によるコスト増が経営を圧迫してきている。

経営環境が好転する兆しの見えない中、賃金改善や職場環境改善、人材育成などに取り組み、従業員が働きがいを持てるよう「人」に着目した諸施策に取り組んだ。

また、今後ますます深刻になる人材不足に対応できるよう、生産性向上員会の活動強化とICTの積極的な導入による現場の変革を促し、事業所内での生産性向上への取り組みを始めた。

法人がこれまで以上に優れた公益性と非営利性を発揮し、法令を遵守した良質な福祉サービスを安定的、持続的に提供し、地域で期待される役割を果たすことができるような法人運営に努めた。

○重点事項

① 人材確保対策と多様な人材の活用

最大の経営課題である人材の確保を現実のものにするため、企業のイメージと知名度の向上につながる活動や福祉職の魅力が伝わる情報発信に努めて、法人のブランディングを促進した。

必要な人材を確実に獲得するため、求人对策の強化を行いつつ、並行して外国人材を含めた多様な人材の活用に取り組んだ。

職員処遇と福利厚生向上・充実に努め、人材の定着化のための取り組みに努めた。

(主な実施事項)

- ・新聞やTVといったメディア媒体への広告掲載、協賛による法人PR実施
- ・JR大湊線、青い森鉄道での社内ポスター掲示による法人PR実施
- ・24時間テレビ、チャリティーミュージックソンへの協賛実施
- ・スタンダードリクルートへの求人情報掲載による新卒求人のPR実施
- ・お祭り、スポーツ大会、芸能発表会など地域振興活動への協賛実施
- ・法人カレンダー、クリアファイルの作成と配布によるPR活動を実施
- ・HPやフェイスブック、インスタグラムを活用した様々な情報発信の実施
- ・インターネット求人サイトIndeedによる求人と採用の実現（採用率33.3%）
- ・Googleによる求人促進のために法人のランディングページを作成して求人実施
- ・高齢者雇用、障害者の雇用促進
- ・パートタイム、学生アルバイトなど働き方に合わせた柔軟な雇用実施
- ・人材紹介業者の仲介による採用強化策の実施
- ・求人力強化のためのコンサルタントとの継続した契約締結
- ・62歳までの定年延長実施
- ・育児、介護休業の法改正に対応する法人内規程の改訂実施
- ・補助金や処遇改善などを原資とした賃金水準の引き上げ実施

② 外国人労働力の活用強化

人口減少が加速し、日本人労働力だけでは支えられない状況で、外国人材の獲得が一層厳しくなっている現状を踏まえ、外国人材に選ばれる事業所づくりの推進に努めた。

外国人材が孤立感や不安感を感じないで生活できるように、職員や地域住民との交流を促進し、地域とつながることができるような支援に努めた。

(主な実施事項)

- ・みろく苑（特養・GH）、ひだまり、野辺地ホーム、能舞の里、いちいの森、ラ・メール白山台、ラ・メール小中野（8事業所）における技能実習生受入の継続
- ・36人の実習生の実習継続（R8.3.31現在）
- ・野辺地ホームにおける特定技能実習生4人の雇用継続
- ・箭根森八幡宮例大祭参加など地域行事への外国人材の参加
- ・「福祉フェス in のへじ」のステージ発表による文化交流を実施
- ・ねぶたの里ワラッセ及び下北地域で「夏の交流会」実施（12名参加）
- ・安比高原での「冬の交流会」実施（18名参加）
- ・日本文化に触れる茶道体験会を2回実施（8名参加）

③ 人材育成と働きがい創出による人材定着化

研修や資格取得支援の充実化を図り、専門職養成の取り組みを強化するなどして、働きがいを高めて、サービスの質向上と人材の定着促進に努めた。

(主な実施事項)

- ・3つの職員階層別に各1回のスキルアップ研修を開催（43名参加）
- ・職員全体研修をオンラインで開催（オンデマンド配信も実施）
- ・看護、給食、保育、介護の職種別に計6回の研修開催（88名参加）
- ・介護支援専門養成講習を開催（1名合格）
- ・介護福祉士資格取得支援講座を開催（5名合格）
- ・管理栄養士養成支援を実施（合格者なし）
- ・OJT委員会を開催しOJT制度の見直し実施（12回開催）
- ・生活相談員の業務指導員を選任し業務指導を実施
- ・交換研修の実施（9名参加）
- ・介護福祉士実務者研修の開催（法人外4名、法人内4名 計8名）
- ・HCJ2026 厨房設備機器展へ参加（理事長他 5名参加）
- ・地域貢献イベントとして「福祉フェス in のへじ」を協働開催

④ 生産性向上につながる取り組みの促進による業務改革

働きやすい環境整備や業務の生産性向上につながるさまざまな取り組みについて、全ての部署に設置させた生産性向上のための委員会により試行錯誤し、業務を見直し、限られた人材や資源を用いて一人でも多くの利用者に質の高いケアを届けられるよう努めた。

(主な実施事項)

- ・生産性向上のための委員会活動の促進
- ・生産性向上施設長情報交換会の開催（3回）
- ・Wi-Fi 設備更新、眠りスキャン、インカム等の ICT 機器導入（5事業所）
- ・一気通貫連携のための介護記録、請求ソフトの導入（10事業所）
- ・車いす、エアマット、電動介護ベッドなど介護福祉機器の整備
- ・入浴介護用リフトの導入（2事業所）による身体的負担軽減
- ・保育 ICT 「はいチーズ！システム」の導入推進

⑤ リスクマネジメントと BCP に沿った危機に強い福祉現場整備

災害や事故など事業継続を阻害する様々な要因から事業を守るため、アクションプランに備える必要なリスクマネジメントを行うとともに、万が一実際に被害にあってしまった場合でもサービス利用者の生活を継続して守れるよう BCP 対策を徹底し万全の体制整備に努めた。

(主な実施事項)

- ・BCP の内容検証実施
- ・備蓄の在り方についての検証実施
- ・災害・感染症発生時の情報共有と初動対応支援の実施
- ・ラ・メール小中野における津波避難の実施（3回）
- ・法人車両へのドライブレコーダー設置（41台）

⑥ 法人本部の機構改革による組織体制強化

介護人材の確保や複雑化・多様化する福祉ニーズの対応など、法人の運営能力の強化が求められており、継続的かつ安定したサービス提供を実現するため、法人本部の役割分担の見直しと専門職人材の確保に努めました。

(主な実施事項)

- ・人事、総務、経理、事業などに分けた業務分担の見直し実施
- ・八戸事業推進室の企画推進部との統合による組織改革の実施
- ・法人本部への管理栄養士の採用配置
- ・管理栄養士による給食栄養管理会議の開催（5回）
- ・管理栄養士チームによる事業所の給食管理支援の実施（3事業所）

(1) 介護老人福祉施設事業（広域型従来型）・・特別養護老人ホームみろく苑

① 安心で安全な生活の支援

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の情報をこまめに収集し、その都度、職員への周知を図るための勉強会を行い感染予防対策に努めていたが、3月に新型コロナウイルスが発生。感染拡大抑止の対策を行った。

入居者や家族の要望等を尊重できる環境を整えるため、特殊寝台などの福祉用具を購入することにより、安心・安全で穏やかに生活が送れる環境を整えることができた。また、スマートフォンを活用し、映像や会話による通信が行なえることで、ご利用者様の安全確保にもつながり、迅速かつ効率的な行動へも結びつけることができた。

② 業務継続計画BCPの策定

感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供される体制を構築できるよう、計画の定義や取り組み内容、感染症マニュアルに基づく対応方法などを周知し、机上訓練を行うことで理解を深めることができた。

③ ケアプランに基づくサービスの品質向上

情報収集やケアの個別性を再確認しながら研修等で得た知識なども活用し、入居者およびご家族の意向に基づいた援助の方法や目標に基づき支援を行うことで、サービスの品質向上につなげることができた。

④ 入居者が自ら主体となる適切なケアの提供

申し送り方法を簡素化するためにケアコラボを活用し、職員同士の情報共有や連携を密にしながら、入居者の日常生活が可能な限りご自身で行えるように支援を行い、羞恥心への配慮にも適切に援助できるよう対応することができた。

⑤ 重度化と看取りに対応できる施設づくり

重度化対応もできるよう医療機関との連携を図りながら、状況に応じた協力病院との連絡・調整に努め迅速な対応を行うことができた。

⑥ 地域住民が気軽に相談できる場の提供

SNSやホームページ、毎月の広報誌発行等を活用しながら地域に施設の情報などを発信することはできた。今後は、地域住民が気軽に相談できる窓口設置や交流促進活動を行っていきけるよう取り組みを続けたい。

⑦ 介護人材の確保

介護サービスを担う人材として、新たに3月から2名の外国人技能実習生を受け入れ、技能実習指導員のもと、実習生の介護技術と日本語向上を図りながら人材の育成に努めた。

(2) 介護老人福祉施設事業 (広域ユニット型)・特別養護老人ホーム「ゆうなぎの里」

① 多職種による情報共有の充実化

カンファレンス、栄養ケア会議を開催しながら多職種で入所者 1 人ひとりの情報の共有を行うように努めた。ケアコラボを活用しながらカンファレンスに参加できなかった職員も情報の共有がしやすい環境が構築されていった。

多職種が利用者の情報を共有することで、ユニット食レクや行事食提供時には食事形態の異なる利用者が見て楽しみ、食べて楽しめる食事提供を実施する事ができた。

② 生産性向上を意識した業務改革

生産性向上プロジェクトチームを定期的に開催することで、業務を見直す機会・方法を習得する事により、入所者 1 人ひとりと密に関わる時間の確保ができた。その中で知り得た情報を生かし、個別活動（趣味活動）の充実化に努め、畑作業に参加する利用者、レース編みをする利用者、観葉植物を育てる利用者等、利用者の「やってみたかった」を少しずつ実現できる時間の確保ができた。

③ 地域住民との交流の推進

施設内行事の企画・運営をする中で地域住民と交流ができるように計画を組み立てる事を意識した。佐井村保育所の慰問では異年齢交流により普段見る事がない入所者の表情を見る事ができた。また地域の環境整備に職員が積極的に参加し、地域住民と一緒に活動することができた。施設で過ごす時間の中でも、郷土芸能を身近に感じる取組みも実施できた。これからの課題としてはボランティア活動の強化・推進である。

④ 「学ぶ」意欲の向上

外部研修、法人研修、内部研修に積極的に参加する事で、職員 1 人ひとりの「学ぶ」の意識を向上する事ができた。学ぶことで自己研鑽に繋がり、各々の意識向上やスキルアップに取り組むことができた。研修で習得した技術や知識を生かし、利用者へ迅速な対応が実施することができている。また委員会活動で外部研修へ参加する事により、習得した知識は内部研修を通じ全職員へ周知した。

⑤ 特養空床時の短期入所の活用

特養空床時の活用については、利用者のニーズに合った対応を実施する事ができた。レスパイトや医療的ケアの必要が高い利用者にも柔軟に対応する事ができた。これからも空床時の迅速な対応が実施できるように努めていく。

(3) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・・特別養護老人ホーム「ひだまり」

① 季節を感じる行事企画・家族交流の実施

季節に応じた行事を毎月計画し行うことで、感染対策を講じながらご家族様と一緒に夕涼み会を楽しんだり、五戸町の祭り見学やドライブにも外出し目や肌で感じる企画運営ができた。

コミュニケーションツールとしてケアコラボの活用により、遠方のご家族様にも写真などを通し施設生活の状況をお伝えすることで近隣のご家族様だけではなく、入居者との繋がりを持っていただく事ができた。

② 多職種連携にて、入居者の機能低下の防止を図り自立支援を図る

毎月のケアカンファレンスで、入居者一人ひとりの把握に努め、健康状態や支援の仕方についてケア内容を確認し、課題解決や情報共有の統一を図れた。また、入居者の状態悪化時に、嘱託医との早期対応連携が図れたことで入院加療等の重症化を予防できたことで、心身機能や自立機能低下にも繋げることができた。

③ 各種職員及び外国人技能実習生の介護技術・知識向上の実施

外部・内部研修を計画的に行うことで、職員のスキルアップ向上に繋げることができたことで、各種感染症の発生も抑え入居者の安定した生活の確保ができた。

新人職員へのOFF J T・O J Tの実施で仕事への責務と自信を持たせることができた。

④ 各種ボランティア受入・地域交流の促進

慰問のボランティア受入は行えたが、学生等のボランティア受入に活動的に取り組めていなかった。また、地域への施設情報発信が不足していることから、今後も取り組みを続けたい。

⑤ I C T化の促進

昨年度末に、「眠り S C A N」機器の導入があり今後の、生産性向上に向けた取り組みを図る。

(4) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・特別養護老人ホーム「能舞の里」

① 施設サービス計画の適切な立案と実施

個別 ADL に応じた栄養ケア、口腔ケア等入所時の計画プランの作成はもとより、介護度の変化に即応した区画変更に伴うサービス計画の見直しを含め、最善の状態での立案で実施することができた。

○具体的な実施項目

- ・サービス担当者会議とモニタリングに基づく施設サービス計画の作成と実施
- ・栄養アセスメント計画作成と栄養ケアプランの実施
- ・例月 1 回の PT による機能訓練の実施
- ・年 2 回の歯科衛生士による口腔衛生ケア指導の実施
- ・D N A R 等の家族同意書による終末期対応の実施

② 地域連携の推進

地域密着型施設としての使命と地域福祉施設の自覚を基本とし事業運営を展開することができた。しかしながら、行政並びに地域活動連携においては、コロナ感染化の影響が以前、後を絶たない状況下にある。

○具体的な実施項目

- ・運営推進会議等を通しての情報共有と情報発信の実施

③ チームワークを基盤に業務の効率化と対応力の向上

今年度は介護職員及び看護職員のスキルアップを図るべく、10 月よりジョブメドレーアカデミーの動画配信を活用するなど事故防止対策に取り組み、着実に業務の生産性向上に向けた効果が現れつつある。

○具体的な実施項目

- ・各種研修の内容と対象者を明確化し効果的な研修機会の確保
- ・各種会議等での意見交換と必要な情報共有の徹底
- ・効率的なケアコラボの活用による業務報告、連絡の徹底

④ 入所・利用者様の情報発信

家族会への例月のお知らせや年 2 回発行の広報誌により、施設内での生活状況を積極的に発信することができた。又、入所者家族との対面面会も感染対策に配慮しながら、相互のコミュニケーションを確保し、日々の情報発信にも繋げることができた。

○具体的な実施項目

- ・ケアコラボによる入所・利用者様家族の情報共有と確認
- ・対面面会による入所・利用者様とご家族のコミュニケーションの場の確保と情報発信。

⑤ 感染予防対策の徹底

対面面会の再開にあっても、施設外部入室者に対して引き続き健康チェックを徹底し、施設内への感染リスクを最小限にとどめることができた。また、職員の健康管理とマスク・手指消毒による感染症対策の徹底と入所者の健康管理に最大限の注意を払い、施設内では絶対に感染症罹患者を発生させないという信念のもと、施設一丸となった感染症対策を徹底してきた結果、入所・利用者の罹患者発生を抑えることができた。

○具体的な実施項目

- ・定期的な健康診断とワクチン接種の実施
- ・日常的な手指消毒、マスク着用等自己健康管理の徹底

(5) 介護老人福祉施設事業(密着型ユニット型)・特別養護老人ホーム「しおさい岬」

① 北通りの福祉拠点としての機能の充実

地域のニーズに応え、協力医療機関と連携し SS 利用者の方を含めた看取りの検討、取組みを行った。また、居宅からの相談に応じ一人暮らしの方へのアプローチ、緊急ショートに対応などを行う機会が増えた。

② 施設機能（資源）を充実する為に、人材の育成

人材育成として介護職のケアの充実を図るため、ケアに対するマニュアルの作成し、新人研修に活かしたが、在職者に対するアプローチが十分ではなかった。

今後、統一したケアの充実のため、働き掛けを行っていかなければならない。

認知症の対応について座学のみではなく施設内で事例検討を行い、対応を検討し実施したが、振り返りが行えなかったため、今後は PDCA サイクルに則って検討会を実施していく。

③ ボランティア、実習生の受け入れの強化

ボランティア、実習生の受け入れについては、実習担当者の資格取得に至っていない。しおさい岬の夏祭りでは、地元の高校生がボランティアとして参加していただいた。次年度は実習担当者の取得に向け働き掛けを行っていく。

④ 日々の取り組みの発信

インスタグラムで定期的に、しおさい岬の様子を発信している。ご家族や地域の方々が見て、ご意見を伺う機会が増え、今後も継続して発信していく。

⑤ いつまでも自分らしく暮らせる場の提供

施設利用者様と職員が「その方の思いを叶える」企画は、今まで、どのように過ごされ、楽しみは何かなど、その方を知るきっかけとなり、楽しむ時間を共有することができた。その中で自宅へ帰った喜びをご本人、ご家族、職員が共に感じることができたケースもあり、家族様からもこのような企画は来年も行っていきたいとの要望をいただいた。

⑥ 季節を感じるドライブや行事の実施

季節を感じるドライブは全体の行事の中で実施することは出来なかったが、思いを叶える企画の中ではドライブに出かけた方もいた。また、行事の企画は事務職員、栄養士が中心となり、介護職員と一緒に季節を感じる行事を行っている。

⑦ 地域の一員としての暮らしの提供

施設利用者様の方が機能訓練の中で作成した木目込みの手毬、スノーボードなどを大間町文化祭に出品し、出品した方を中心に見学に行き、地域の方と関わる機会となった。

(6) 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・特別養護老人ホーム「いちいの森」

① 入所者に寄り添ったサービスの提供と栄養ケアマネジメントの充実

- ・桜見、菜の花ドライブ、買い物デー、花火等を実施し、少しでも屋外で楽しんでもらえるよう努めた。
- ・面会は規制緩和したことで、家族とのコミュニケーションを図る機会が増えた。
- ・通信は計画的に発行できたが、内容を充実させるには至らなかった。
- ・栄養士不在のため、他事業所と連携して栄養管理に努めた。
- ・行事食は厨房、介護、主任と相談し、入所者に喜んでもらえるよう工夫した。

※利用者が何を求めているのか、何を訴えているのか真剣に聞いてあげ、出来る限り要望に応じてあげる姿勢が不足しているように感じられた。

また、一部の職員ではあるが、利用者への言葉遣いを指導する必要がある。

② 身体機能の低下を防止し、健康管理のもと元気に過ごす

- ・生活リハビリ及びレクリエーションプログラムの作成は達成できなかった。
- ・提携医療機関との連携は密に行われた。
- ・施設で終末期を迎えたいという入所者、家族の意向を尊重することができた。

※入所者の健康、体調管理は更に努めて行く必要がある。

③ 地域との交流促進

- ・地域との連携を図ることはできなかったが、ボランティアの受け入れや村内婦人部、こども園の慰問により交流を図ることができた。

※関係団体との連携と情報発信。

④ 職員の介護技術等の向上と外国人実習生の人材確保

- ・内部研修会やリモート講習に参加し、介護技術の向上に努めた。
- ・外国人実習生は着実にスキルアップし、一人でも介護支援できている。
- ・介護職員は率先して上位資格取得に取り組んでいる。

※介護技術・知識を深めるための研修等には参加しているが、一部の職員は成果が現れていない。

⑤ 感染症予防及び災害発生時の対応力強化

- ・見直ししたマニュアルを周知し、対策を徹底させることができた。
- ・消防署職員を招いて災害発生に備えての訓練等を実施することができた。

※毎年継続して訓練等を実施する。

⑥ ショート（空床利用）の活用

- ・居宅支援事業所と情報共有に努め空床利用を図った。
- ・ショート増床工事及び備品購入は計画どおり実施することができた。

※更に包括支援センター等と連携を図り、特養の空床利用とショート活用を図る。

(7) 介護老人福祉施設事業(広域型従来型)・特別養護老人ホーム「野辺地ホーム」

① 稼働率向上と経営、運営体制の強化

- ・利用拡大については、テクノロジー導入に伴う人員基準の緩和措置等に取り組み、SNS等求人活動を進め介護職員の確保と離職防止に努め特養においては計画目標に掲げた60床を超え、段階的に80床満床利用までの体制の整備と入居者の受入を図り経営の安定に努めた。
- ・待機者が無くなり、入院者及び退所者が増加する中で、目標数に届かない状況となっている。このため営業を積極的に進め、入院等により空床となった居室にショート利用者を受け入れ、特養の不足分を補い、稼働率の向上に努めた。

② 職員の資質向上と育成支援

- ・新たに採用された介護職員8名の職員に新任研修とOJT研修を実施した。
- ・インドネシアからの技能実習生2名を受入れ育成道を図った。
- ・口腔ケア、おむつの当て方、感染症(PPE)ノーリフ等の実習形式を含めた内部及県社協等が主催する外部研修に参加し、職員の資質向上とスキルアップを図った。

③ 「より良いケアの提供」と「その人らしい生活の継続」のための支援

- ・ICTや眠りスキャンを活用し、眠りに関する利用者様の健康管理や夜間離床者の転倒防止ほか徘徊者等へのベット柵による身体拘束を廃止する等、生産性向上に取り組み職員の身心の負担軽減を図るとともに利用者のより良いケアに取り組んだ。
- ・入浴リフトの購入とスライドボード、スライディングシート等を活用し、持ち上げない、抱えない、引きずらない利用者により優しいノーリフティングケアに努め職員の腰痛予防を図り、働きやすい職場づくりに努めた。
- ・寝食分離を進め、日中は食堂ホールで過ごしていただくよう寝間着から日常着への着替えの支援に努めた。
- ・昼食前に体操、レク等の実施に努め、毎月1回、公立野辺地病院から理学療法士の訪問リハを受け、看護師が個別リハの指導を受け、日々のリハビリ等に取り組み利用者様の身体機能の維持に努めた。

④ 「自立支援」「本人本位(自己決定)」を基調としたケアプランに基づく支援

- ・LIFEの活用を図るとともにチームごとに定期的にケアカンファレンスを実施し、評価を行う共に本人、家族の意思に基づくケアプランの見直し等を行い利用者様の生活の質を高めるよう支援した。

⑤ 家族及び地域住民との交流の推進

- ・対面専用ルームを交流室内に設置し、利用者への感染を予防しつつ対面面会の維持に努めた。
- ・ご家族に外出や外泊の働きかけをし、「家族と過ごす時間が欲しい」との利用者様の希望を支援した。
- ・ホームだよりの発行やホーム通信による情報発信した。
- ・野辺地ホーム夏祭りに、ご家族の皆様をはじめ福祉関係者及び町内会の皆様をお招きし、ステージショーやゲーム、屋台等を楽しみ親睦と交流を深めた。
- ・ボランティア募集の呼びかけに応じ、ササ踊り保存会様、まかど喜ばせ隊、傾聴ボランティアの皆様他、野辺地高校生徒3名が応募し各行事への協力をいただいた。

(8) 介護老人福祉施設事業（密着型従来型）・特別養護老人ホーム「ラ・メール白山台」

① 施設サービス計画の適切な立案と実施

栄養ケア・口腔ケア・個別リハビリテーションを一体化して施設サービス計画を立案し、利用者が心身ともに健康な生活が送れるよう定期的な担当者会議とモニタリングを実施。併せて必要に応じた勉強会も実施し多職種協働の個別支援を充実させることができた。

② 地域連携の推進

地域から求められる施設運営を目指して、地域のニーズを探るため町内会活動や地域ケア会議に参加。運営推進会議や Instagram 等を活用して情報発信・共有を行った。

③ チームワークを基盤に業務の効率化と対応力の向上を図る

職種毎に高い専門性を発揮できるよう、チームワークを大切に日常の業務に取り組んだ。生産性向上委員会をラ・メール小中野と共に行い、業務の効率化の視点を持って話し合い業務改善につなげることができた。ICT 機器(眠りスキャン)が導入となり研修会に参加し、多職種で使用方法を検討しながら機器の活用を日常業務に落とし込むことができた。施設内で感染症の発生があったが、随時多職種で連携を図って対応を行った。感染症の終息後に対応の振り返りを行い、更に今回の対応で不足した内容について共有し、対応力の向上につなげた。

④ 生活の様子などの情報発信

安心感を持って施設利用できるよう、生活の様子についてケアコラボを活用して発信した。面会時も、最近のご様子をご家族様にお伝えしたり、対応についての相談を行ったりして、家族様と信頼関係を築きながら対応に当たった。

(9) 介護老人福祉施設事業(密着型従来型・サテライト型)・特別養護老人ホーム「ラ・メール小中野」

① 「元気」と「笑顔」を作り出す施設を目指す

行事やレクのほかに、入居者の外出支援をすることができた。ある程度意向が確認でき移動が比較的可能な入居者に限られたため、今後も継続して可能な限り個別な支援を実現していきたい。

② 利用者および介護負担軽減のため移乗用リフトを購入する

3か月間のモニター体験後、1台購入することになった。利用者の安全な移乗介助とスタッフの介護負担軽減につながる環境整備ができた。

③ ラ・メール小中野のモットー実現のために努力できる人材育成

内部研修の計画的な実施をすることで、知識のふりかえりや習得、また価値観の共有化を図ることができた。また外部研修や法人内研修へも参加し、スタッフの人材育成に努めることができた。

④ 多職種協同のカンファレンスと役割の明確化

カンファレンスを通じて、介護スタッフ、介護スタッフ、管理栄養士、生活相談員がそれぞれに利用者の知りたいことや共通認識したいことを確認し、だれが何をするべきかを確認しながらサービス提供に努めることができた。

⑤ 「やりがい」を感じられる組織作りとスタッフの充実

外出支援を通じて、入居者の笑顔や家族の笑顔を作り出すことを通じて、スタッフも楽しむことができ、やりがいにつながる支援の一つを実施することができた。限られた入居者にしかできなかったのを、今後も継続していき可能な限り入居者や家族の意向に沿った支援をしていきたい。

ケアコラボの家族閲覧を推進することで閲覧者が増えた。新規入所者はほぼ閲覧登録することもできた。

(10) 短期入所生活介護事業（従来型）・・・ショートステイ「みろく苑」

① 感染予防対策と質の高いアセスメント・モニタリングの実施

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の情報をこまめに収集し、その都度、職員への周知を図るために勉強会を行い感染予防対策に努めた。

また、適切なサービスを提供できるようケアコラボを活用し、アセスメント・モニタリングの質を高められるように取り組み、可能な限り在宅生活環境に近づけたサービスの提供を目指すことで、利用して良かったと感じて頂けるケアが実践でき、利用者やご家族の身体的および精神的負担の軽減に努めることができた。

② 業務継続計画BCPの策定

感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供される体制を構築できるよう、計画の定義や取り組み内容、感染症マニュアルに基づく対応方法などを周知し、机上訓練を行うことで理解を深めることができた。

③ 福祉用具を活用した利用者個々に合わせたサービス提供

福祉用具を活用することで、個々の利用者に合ったサービス提供ができるよう努めた。また、介護環境に配慮した特殊寝台およびスライドボード等を活用することで職員の身体的負担軽減が図られ、転倒予防のためのセンサーマットを活用することで利用者が安心して介護を受けられる環境が整備できた。

④ 認知症ケアの充実によるサービスの向上

認知症についての理解を深めるため外部研修へ参加し、研修内容の伝達や施設内での認知症対応に関する意見交換を行うことで認知症ケアの充実を図った。また、行動心理症状に対しても統一したケアができるよう、報告、連絡、相談、確認を密に行うことでサービスの向上に努めた。

⑤ 居宅介護支援事業所との連携および地域貢献

居宅介護支援事業所へ、こまめに空床情報などを提供しながら利用者確保に努め、安定した運営ができるよう努めた。また、地域イベントへの協賛や協力により地域貢献に努めた。

(11) 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・ショートステイ「ひだまり」

① 季節を感じる行事企画・家族交流の実施

感染対策を講じてご家族様と一緒に過ごしていただき、毎月の行事やレクリエーション等を企画・実施する事で、目や肌で感じる事ができる季節に応じた行事などを運営する事ができた。

ケアコラボを活用する事により、ケース記録等だけでなく行事などの写真などを通して施設生活の状況やご利用者様とのつながりをお伝えした事で、ひだまりとご家族様とのコミュニケーションツールとして活用する事ができた。

② 多職種で連携し、ご利用者様の ADL 等の低下防止を図り、自立支援を図る

毎月のケアカンファレンスだけでなく、ご家族様や担当ケアマネジャー等を通してご利用者様一人ひとりの状況を把握に努め、健康状態やケア内容等を確認し、課題解決や情報共有の統一を図る事ができた。また、ご利用者様の状態急変時や状態悪化時に、ご家族様などと情報を共有し、早期に連携・対応を図ることができた。

③ 居宅支援事業所との密な連携の確保

各居宅支援事業所の担当者から情報を得て、ご利用者様・ご家族様のニーズに合わせた利用を実施する事ができた。しかし、空床が空く事が多くなり稼働が落ちて来た為、各居宅支援事業所へ直接足を運び利用者様の状況や情報を共有した事で、急遽の受け入れなども行った事により稼働が安定してきた。

利用者の確保に課題が残っている為、居宅支援事業所だけでなく他事業所との連携も密にしていく必要がある。

④ 各種ボランティア受入・地域交流の促進

慰問のボランティア受入は行えたが、学生等のボランティア受入に活動的に取り組めていなかった。また、地域への施設情報発信が不足していることから、今後の取組みに課題が残った。引き続き施設情報の発信等に尽力していく。

⑤ ICT化の促進

昨年度末に、「眠りSCAN」機器の導入があり、今後の生産性向上に向けた取り組みを図る。

(12) 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・ショートステイ「能舞の里」

① 施設サービス計画の適切な立案と実施

居宅ケアマネジャーとの緊密な連携と情報提供のもと、利用前の現況、状況調査を正確に把握し、個別 ADL に応じた栄養ケア等利用時の計画プランの作成はもとより、介護度に即応したサービス計画の見直しを含め、最善の状態での立案で実施することができた。

② 利用者目線のサービス提供

ショート利用者は、家庭環境時より比較的自由に行動できる利点もあることから、利用者一人一人が 1 日の生活リズムを大事にしながら、適度の軽作業等（絵パズル、塗り絵他）を通じて安定したサービス提供に努めることができた。

③ 身体機能の維持

利用者の認知症及び徘徊行動に対応しながら、利用者の滞在中は万全の対策を講じながら、一人一人に寄り添ったサービス提供に努めるも、職員間の対応力とケア不足もあり、日々の安定した取り組みが叶わない場合もあった。

④ 事故防止対策

常日頃より、職員間でのショート利用者の情報共有はもちろん申し送り等極め細かいサービス提供に心掛けてはいるが、利用者の ADL は日々変化・進行していることを念頭に入れ、事前防止策に職員一丸となり取り組んでいるが、リスクを極力回避する努力をする必要がある。

⑤ 感染予防対策の徹底

ショート利用者の入所時前の健康状態の把握と健康管理に最大の注意を払い、家族に対しても感染対策の必要性和その理解に努めた結果、ショート利用者の罹患者発生を抑えることができた。

(13) 短期入所生活介護事業（ユニット型）・・・ショートステイ「しおさい岬」

① 居宅サービス計画の基本方針に基づき、自宅での生活との継続性の重視

ご家族、居宅担当ケアマネからの情報、方針を基に自宅での生活を考えながら、出来る事を継続して行えるように、また、できることを増やす取り組みを行い自宅での生活が充実し介護者の負担軽減になるように努めたが、まだ、不十分であるため今後も継続して自宅での生活を意識した支援を行なっていく。

② 関係機関と連携しながら利用者様、御家族に寄り添ったケアにあたる

居宅支援事業所、協力病院と連携し抱えている課題の情報収集に努め、具体的な支援方法の確立に向け、ご利用者、ご家族の希望に添い協力病院と検討を行い実施したが、まだ不十分であることから、今後も継続して行っていく。

③ 最期まで自分らしく暮らせる場の実現を目指す

居宅ケアマネからの情報や実際に利用者様、ご家族から在宅での生活の様子などを伺い、望む暮らしの実現に向けての情報収集が不十分で具体的な取り組みまでには至っていない。

(14) 短期入所生活介護事業（従来型）・・ショートステイ「野辺地ホーム」

① 個別ケアの充実

居宅ケアマネからの居宅サービス計画に基づき相談員が個別ケア推進の要となり本人、ご家族と十分なコミュニケーションとり、看護、介護、及び栄養士等と連携し求められているケアや支援を行った。

退所時に家族に利用時の状態等を口頭及び文書で報告し、在宅生活における助言や相談等を行った。

② 多様なニーズを持つ利用者への適切な対応

毎月の行事やレク等に参加していただき身体機能の維持等に努めた。

重度の認知症があり徘徊等の問題のある高齢者と在宅での生活が困難となった認知症一人暮らし高齢者等を町からの要請で緊急的な受け入れを行った。また、家族の疾病など緊急性の高い高齢者を受入し、施設利用ができるように努めた。

③ 効率的な運営

空床情報を近隣居宅介護支援事業所等に情報提供し、ショート居室4床と特養空床を含め利用者の受入れを行い、事業計画目標732人を大きく上回る1,694人を受入れ、特養の不足分を補い、稼働率の向上を図り、効率的な運営に努めました。

眠りスキャン、テクノロジーを活用し、利用者様の安否確認と安眠を妨げることなく訪室回数を減らし、職員の心身の負担軽減を図った。

④ 新型コロナウイルス対策を含む感染症対策の徹底

「職員がウイルスを持ち込まない、持ち出さない、広めない」を標語に掲げ「一処置一手洗い」とマスクの着用を励行し、感染症予防対策を図ってきたが、くしくも11月に職員から新型コロナウイルス感染が広がりクラスターの発生となった。直ちに対応策を取り、利用者様への感染予防を図り、拡大防止に努めた結果、利用者様に重篤な状態になる方もなく無事終息した。この間、ショートの受入を止め、町役場及び各居宅介護支援事業所等へ状況を報告するとともに協力病院である公立野辺地病院から感染症専門看護師の派遣を受け、手洗いとハウジング等の研修を実施し、感染拡大の防止に努めた。

(15) 短期入所生活介護事業（従来型）…ショートステイ「ラ・メール白山台」

① 生活の様子などの情報発信

利用者様の生活の様子をケアラボのご家族様の登録を促進しつつ情報の発信を強化した。ショートステイ利用時の情報収集を的確に行い、スタッフに伝え情報の共有と必要時の調整を行い、チームとして円滑に利用者様の対応を行なうことができた。

② 地域連携の推進

居宅介護支援事業所と良好な関係を築くために現在利用している利用者様の情報をお伝えしたり、施設サービスの強みを伝えたりして、利用者様を紹介したいと感じてもらえる信頼関係づくりを心掛けた。市内にサテライト施設があることも強みであり、ラ・メール小中野と連携して新規利用や急な利用希望にも極力対応できるよう努めた。

(16) 短期入所生活介護事業（従来型）…ショートステイ「ラ・メール小中野」

① 利用中の様子について情報発信

ケアコラボの閲覧を推進したことで、閲覧希望者が増えたこと、また退所時連絡表のファイルを作成したことで、継続的な利用の様子が家族はもとよりモニタリングで自宅に訪問したケアマネも確認できており、情報提供が継続してできた。

インスタグラムやホームページへの情報発信については、頻度が少なかったため、今後は話題作りや写真撮影を目的をもってできるよう担当者を増やしチームで行えるようにしていきたい。

② 居宅介護支援事業所への営業と情報収集

初夏から夏場にかけては、体調不良やその他キャンセルに対して、利用日数と空床の調整がうまくできず稼働率の低下があった。定期的だけでなく随時、居宅介護支援事業所への営業をすることで、問い合わせが増え、急な利用や退院などのニーズにこたえることができ、下半期には安定した稼働率を保つことができた。今後も継続し安定した稼働と利用ニーズに応えられるようにしていきたい。

③ 地域との交流について

コロナ禍でできていなかった地域との交流について、地域の保育園に声がけし、園児の慰問をすることができた。園児にもかき氷やささやかなプレゼントを贈り、園児の笑顔が施設利用者の笑顔や感動の涙につながり、良い活動ができたと思う。今後も慰問だけでなく、地域の行事など参加することで楽しみな利用になるようにしていきたい。

(17) 通所介護事業・・・デイサービスセンター「みろく苑」

① いつまでも自分らしく在宅での生活の継続

通所介護の役割や目的の理解を深め、利用者が求めるもの、自分たちがやるべき事についてチーム内で話し合いケアをする事の意義・必要性について向き合う事ができた。

② サービスの質の向上と統一あるチームケアの構築

計画書をもとに、統一したケアの徹底に努めました。今のチームにあった方法で、チームで考え、意見を出し、一つ一つ課題に向き合う事ができたと思う。チーム内がそれぞれの役割を理解し始め、利用者に向き合う時間をつくろうと日々、試行錯誤して取り組んだ。

③ 関連機関との連携

町内の関係機関との連携は積極的に図る事ができたが、町外の関係機関との結び付が少なかった。また、連携をしていく上で知識不足や連携不足も目立った。柔軟に対応していく為にも人材の育成や事業所内の連携の図り方について見直していく必要がある。

④ 社会貢献、地域貢献

今年度、数年ぶりのみろく苑祭りの開催や田子町文化祭への作品の出品等、地域の方々との交流を図ることができたが、園児や児童・学生との交流については交流する機会を設ける事ができなかった。また、感染対策に努めたが、8月と3月にデイ利用者数名、及び職員数名がコロナに感染した。今後も感染予防対策を行い、感染を広げないよう努めていく。

(18) 認知症対応型共同生活介護事業・グループホーム「みろく苑」

① 自分らしい暮らしを継続するための取り組み

認知症や持病が進行しても本人や家族が安心して過ごせるよう、医療機関との連携を図りながら本人や家族が望む医療が受けられるように努めた。入居者一人ひとりがいつまでも自分らしく暮らすために、楽しみややりがいと笑顔で過ごせるような情報を共有しながら必要なケアが適切に提供できるよう ICT を有効活用した。また、様々なニーズに対応するため内部研修や外部研修の実施に取り組み、職員もやりがいと誇りを持って働けるよう知識や技術の習得に努めた。

② 社会貢献・地域参加

地域住民との交流の為、地域の一員として、イベントへの参加や、園児や児童、学生との交流の機会の為、運動会や相撲大会等に参加した。施設開放の機会の為、みろく苑祭りでは地域住民の方が足を運びやすく安心感が得られる場を提供できるようボランティア等で参加してもらった。地域に出かけ、地域住民と交流をする事で入居者の生活の質が高くなるような相乗効果に努めた。

③ 感染症や災害発生時への業務継続の備え

全職員に **BCP** 理解を深める為の研修会を会議の場を利用し周知した。感染症や自然災害が発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されることが重要である事を知り、感染症や災害での平時の取り組みの基本を理解する机上訓練や必要物品の備蓄場所の把握などを具体的な計画の元で **2** 回、災害内容に応じた勤務体制を想定し、災害発生時に備えた訓練を年 **2** 回実施した。

(19) 認知症対応型共同生活介護事業・・・グループホーム「みろくの郷」

① 自分らしい日常生活の支援

入居者一人ひとりの生活歴や好み、習慣を理解するように努め、その人それぞれのリズムやできる力を大切にしながら、日常生活の中で役割を持ってもらうことで「自分らしさ」や生きがいを感じてもらえるような支援に努めた。季節の行事やレク等の企画実行により日常生活に楽しみを持てるように努め、ドライブや町内行事への参加等の外出の機会を作り、馴染みの場所や人との関係が途切れないよう支援に努めた。

② 認知症の進行や重度化に対応できるケアの提供や人材育成への取り組み

ケアコラボの活用によるケアの可視化や共有化を実践し、主治医や訪問看護師等の関係機関、ご家族への報告・連絡・相談を随時行い、本人やご家族の希望に沿ったケアの提供に努め、終末期ケアにおいては5名の方の看取りをさせていただいた。内部研修や法人内階層別の研修や外部研修への参加により、認知症や認知症ケアへの理解を深め、医療職からみた看取りケアについて学ぶ機会を持ち、個々に合わせたスキルアップを図ることができた。

③ 感染症や災害発生時に備えた取り組み

会議の場において業務継続計画（BCP）について、全職員へ周知し理解を深めるよう災害・感染症それぞれについての研修に取り組み、机上訓練だけではなく実践的な訓練と合わせて行うことができた。新型コロナウイルス感染症発生時には職員2名と入居者3名の感染がみられ感染の拡大防止や感染対策の見直しについて、その都度職員間で確認しながら対応した。その他、感染症や食中毒等については内部研修の計画に沿って行った。

④ 地域参加と地域への貢献

地域に密着した事業所として、地域の方々との関係構築の手段の一つとしてSNSの活用や広報誌の配布等の情報発信により、事業内容についての周知や理解を深めていただくことを考えていたが実践できず、今後の取り組みとして継続したい。地域行事への参加や交流により身近な施設としての関わりを意識し、みろくの郷まつりでは地域の方に準備から参加していただく等、今後の関係づくりに努めた。

(20) 保育事業・・・・・・・・佐井村保育所

① 多様な活動による成長支援

【0歳児～2歳児】

日常的な体調管理、食事・排せつの世話、自力で出来る行動の支援年齢に応じた様々な遊びの共有を目的に行い、個々の発達段階に応じて丁寧に対応し、全体的な成長も見られたが、食事、排せつの自力解決に課題が残る子ども数名いた。

【3歳児～5歳児】

朝の登所時間を利用した楽しい運動の実施（朝スポ）。好天時には概ね実施することができ、子どもたちの体力向上にもつながった。食物と体の成長のかわりや調理の体験(食育クッキング)については、年長児 6 名を対象に計画的に実施することができ、食について関心が高まった。

口腔衛生に関する気づきと学びの継続（虫歯予防教室、フッ化物洗口）として診療所のスタッフと連携し虫歯予防教室を 4 回実施することができた。また、年長児に対するフッ化物洗口を週一で実施した。しかし、歯減少などの明らかな効果はまだ感じられない。

名誉村民の三上剛太郎と赤十字の関わりを知り、仁愛の心に触れる活動の推進（赤十字登録式、剛太郎生家訪問、花植え、野菜収穫）赤十字加盟登録式でのお話、三上剛太郎を題材にしたアニメの鑑賞など実施した。イラストを見て「三上剛太郎だ。」と反応する子が数名出てきた。

命を守るための避難訓練の継続実施計画的に実施することができた。実際に地震による津波警報が発令された時普段の避難訓練通り近くの高台に避難することができた。

季節に応じた集会活動の実施(お花見会、七夕集会、秋の自然を楽しむ活動、クリスマス会、新年子ども会、豆まき集会、ひな祭り集会、お別れ会)全て予定通り実施することができた。儀式的行事の実施（入所式、修了式）についても、来賓や親御さんの見ている中でもしっかりと練習の成果を披露することができた。

子どもたちの保育に係る情報共有（常勤職員と非常勤職員との連携）については、手のかかる子について「ティーチャーズトレーニング」の研修を実施したり保育会議の中で情報交換を行ったが、非常勤職員との情報交換は十分とることができなかった。

② 保護者との連携をもとにした行事関連の相談と運営

「運動会」前日の会場準備作業、当日の運営・参加協力については、相談・実行役員を中心に積極的な協力をいただき、「夕涼み会」の運営計画相談、当日の実施協力など、事前の話し合いから当日の実施協力まで非常に強力的であった。

「お祭りパレード」の運営計画相談、当日の実施協力など児童数の減少に応じて保護者の数も減る中父母共に協力する姿が多かった。「海水浴」(夏)「親子のつどい」(冬)の設定、参加者集約、当日運営については悪天候のため中止とし

た。

「保育参観」の実施に向けた相談については、具体的な相談場面は無かったが、6月と12月に実施した後の評価では、子どもたちの日常の様子が分かって良かったという評価が多かった。

③ 地域に開かれた保育所運営

消防署主催の防火パレードへの参加協力（春、秋）として春の防火パレードは天候不順のため消防署内の施設見学を実施した。秋は、直接老人施設等へ訪問し防火を呼びかけた。村・消防団主催の観閲式での演技披露では、ダンスや消防服を着ての放水訓練などを披露して好評を得た。老人クラブと子どもたちとの草取り交流（運動会に向けて、秋の一日）は、老人クラブの方たちの草取りを手伝ったり、運動会で踊る「佐井音頭」を一緒に踊って交流をした。「運動会」「発表会」への老人クラブ招待、いずれも老人クラブの代表に案内を出し、当日は席を用意し、気軽に楽しんで頂いた。地域の夏祭りへの児童出演協力については、夏祭りのオープニングは外のステージで浴衣姿の子どもたちが踊りを披露した。

地域の老人施設への訪問交流（社会福祉協議会、さい荘、ゆうなぎの里）として、「しおさい岬の夏祭り」に参加して踊りを披露。「ゆうなぎの里敬老会」では発表会で演じた遊戯などを披露した。消防職員の協力依頼の集会行事（クリスマス会、豆まき集会）消防職員が、サンタや赤鬼・青鬼に扮して各行事に協力してくれた。子どもたちにとっては本物に映り大きな衝撃を受けていた。隣町の保育園との連携についての意見交換具体的なアイデアを相談する余裕がなく隣町の保育園に相談する機会を持てなかった。

④ 子育て支援センターの運営

支援センターの室内環境整備について、訪問者親子が楽しめるような環境整備を行っていた。支援センターの地域への周知と啓発活動も「にこにこだより」の月一回発行は継続された。また、時々インスタへの情報発信も行っていた。利用者の募集と親子交流の促進については、参加確認が十分でなかったため行き違いが生じてしまい、課題として残った。子育てに関する相談・援助活動については、隣町には支援センターが無いとため、長期の休みに里帰りした親子が訪問することが何度かあった。また、子育て関連情報の収集と継続的な提供については「にこにこひろば」たよりを通じて情報発信を継続していた。子育て及び子育て支援に関する講座や講習会の実施に関しては、概ね計画的に実施できた。参加者の感想も評価が高かった。

(21) 居宅介護支援事業・・・居宅介護支援センター「みろくの郷」

① 運営方針に対して

要介護状態となった高齢者に対し可能な限り居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援を行い、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき適切な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮しました。また、サービス提供にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って公平中立に行いました。

行政、医療サービス、各居宅サービス事業所等との連携を図り、居宅サービス計画作成等の総合的なサービスの提供に努め、支援が困難な事例を紹介された場合でも適切なサービスを提供できるよう努めました。

高齢化率の上昇、高齢者の単独世帯や高齢者世帯の増加、生活困窮者等の増加が予測される中、各種制度（成年後見制度、権利擁護事業、身元保証制度等）の内容や活用方法の理解を深め、利用者の人権擁護、虐待防止等のための研修に参加し体制の整備に努めました。

介護保険制度の法令遵守と適正な運用を図り、インフォーマルサービスなど社会資源の活用や介護保険等関連情報その他必要な情報を活用し、適切かつ有効に行うよう努めました。

② 法令遵守と適正な運用

特定事業所加算Ⅲ維持のため加算要件である項目を遵守するために、利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を毎週火曜日の9時から定期的に開催しました。24時間連絡可能な体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を整えました。

重要事項説明書にも記載し契約時等に説明を行い、当該事業所における介護支援専門員に対し計画的に研修を実施しました。地域包括支援センターから支援が困難な事例を紹介された場合においても、積極的に支援困難ケースを受け入れる体制を整えました。

介護支援専門員実務研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術研修に関する実習」等に協力又は協力体制を確保し1名受け入れを行いました。

他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者と共同で事例検討会、研修会等を実施しました。また、特定事業所集中減算の適用にならないよう毎月確認しました

③ 業務継続計画と生産性向上への取組

感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する居宅介護支援の提供を継続的に実施するため、非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画を策定し、当該業務継続計画に従い机上訓練及び研修を実施しました。

④ 虐待防止に関する事項

虐待の未然防止や早期発見に努め、迅速かつ適切な対応できるよう、同一事業所内と共同で虐待の防止のための委員会を定期的に開催し、その結果について周知を図りました

(22) 居宅介護支援事業・・・南郷地区高齢者支援センター なんごう

① 包括的支援事業の実施

高齢者見守りネットワーク事業について高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、民生委員、町内会、ほのぼの交流委員、地域住民と連携して、地域課題の把握やニーズの発見に努め、高齢者の見守りを行うことが事業の目的であるが、南郷地区の人口減少と高齢化率が高く、現在民生委員や町内会長など兼務も多い状況から、負担が多くなるとの考えがあり、ネットワーク構築には理解が得られていない。しかしながら一部地域では主体的に高齢者の見守りについて考えている状況もあり、今年度は啓発活動を行うことができた。

② 総合相談支援業務（一般訪問）について

圏域内の様々な相談を受け付け、的確な状況把握、適切なサービス及び公的制度の情報提供等を行い、自己決定を支援する。その際、緊急性を判断し対応方針を検討した。相談内容によっては、関係機関との連携を通じて専門的、継続的な支援に努め、社会資源のネットワークを構築し、フォーマルサービスとインフォーマルサービスを適切に活用した支援に努めた。細やかな相談援助や必要に応じて個別対応を行うことで課題の解決に努め、また関係機関との連携による継続的な見守りにより、問題の再発や新たな問題の発生を防止に努めた。相談内容は介護が最も多かったが、それ以外の相談もしばしば寄せられた。相談内容によっては制度や各サービスの情報提供を行うことができた。また、対応方法がいくつかある場合には、知り得る範囲内で説明を加え、どの方法が良いか自己決定を支援するよう配慮した。相談内容によって、関係機関を紹介するなど専門的支援を受けられるよう配慮した。気になる高齢者に関して、民生委員や地域住民、地区の介護支援専門員等からも情報提供や相談の連絡を受けている。今後も連絡がよせられるようなネットワークの構築が課題である。また、気になる高齢者で継続した見守りが必要と考えた場合には、民生委員や地域住民等と連携を図るよう努めた。レベル4の相談を受けた際にはすぐに地域の介護支援専門員と連絡を取り、緊急訪問・対応、関係機関との調整を行うことができ、ネットワークの構築ができたと考える。

③ 権利擁護業務について（困難・虐待事例は除く）

高齢者虐待については老人クラブでリーフレットを用いて計5回普及啓発ができた。成年後見制度利用については、地域の介護支援専門員から相談を受け、申請までの流れや必要書類、申請時の経費など説明することができた。民生委員定例会や老人クラブ、実態把握訪問時に情報提供と注意喚起をした。地域の介護支援専門員より成年後見についての相談を受け、ご本人の希望に沿って対応可能な事業所を紹介できた。高齢者虐待の普及啓発では、参加者からこれまでの限定的なイメージを持っていることが分かり、虐待の対象の理解が得られたことが良かった。また、高齢者支援センターが通報先・相談先であることも伝えながら役割について周知できたことは評価できるが、今後も啓発活動の継続は必要と考える。

成年後見制度を実際に活用することはなかったが、身寄りのない高齢独居者も多く、

虐待案件と併せて、今後も円滑に対応できるような体制を作っていくとともに成年後見制度の普及啓発も課題である。消費者被害となった事例を1つ情報提供することで、住民の方からそれ以外の情報も頂け、また、情報提供から消費者被害を防ぐ意識づけにもつながった。

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について

多様な生活課題を抱えている高齢者が地域で安心してその人らしい生活を継続するため、医療・介護・福祉の分野において、包括的および継続的に支援を行うよう配慮した。また地域における包括的・継続的なケアを実現するため、関係機関の連携体制構築や介護支援専門員同士のネットワーク構築支援、実践力向上支援等、環境の整備を行った。

要介護と要支援を行き来している利用者に対し、介護サービスが中断しないよう留意し、早期での連絡調整や情報の共有に努め、継続的支援を行うことができた。関係機関からの相談は1件あり、速やかに訪問し家族と相談対応ができた。家族からの相談に応じ、介護サービス及び介護保険以外のサービスについても案内し結びつけることができた。

介護支援専門員が日ごろ課題を感じていない利用者に対して、個別会議に事例提供していただくことで専門職からの質問や助言を得ることで、介護支援専門員の実践力向上に役立つことができたと考える。地域の介護支援専門員は少数で、介護支援専門員同士のネットワーク構築支援、環境整備等に関しては今後の課題と考える。

⑤ 在宅医療・介護連携推進事業との連携・協力について

在宅医療・介護連携に関する相談に適切に対応できるよう、地域の医療・介護の資源を把握するよう努めた。高齢者の総合相談窓口として、在宅医療・介護連携に関する相談支援を行い、高齢者やその家族が安心して在宅療養できるよう支援した。

地域における医療・介護の円滑な連携のため、市が実施する研修への参加や会議への出席に努めた。また地域の医療や介護の資源の把握は行っているが、新規事業者情報の過不足があり、在宅医療・介護連携に関する相談が適切に行えるよう社会資源の把握が必要である。相談内容によっては関係する在宅医療や介護連携の窓口を案内し、状況によっては直接センターで関係機関に連絡調整を図った。可能な限り市が実施する研修や会議に参加し、地域における医療・介護の連携に努めた。

⑥ 生活支援体制整備業務について

地域住民から寄せられた相談で、配食や移動販売、リハビリ施設、入浴施設等介護保険外のサービスについて問い合わせがあった際には、把握している民間サービスの情報提供を行なった。また、高齢者サロンや老人クラブ等の通いの場についても活動内容等を情報提供し、相談者がスムーズに問い合わせできるよう努めた。

「通いの場マップ」の作成にあたり、主催者へ活動内容や場所などを確認し、情報の更新を行い、「見える化」に努めた。

活動の場はなかったが、機会があれば、市の設置する協議体に参画し、生活支援体制の維持向上に資する多様な提供主体との情報共有や連携を図っていく。

⑦ 認知症総合支援業務について

認知症の相談に対し、対象者のニーズに合わせて、医療（受診推奨等）や介護（介護申請サービスの紹介）に繋げたり、支援者への精神的ケアや対応の助言を行った。その際には認知症ケアパスを活用し、認知症理解の促しや、認知症診断医療機関等の情報提供を行なっている。また、介護予防教室や実態把握調査での訪問時に認知症ケアパスを積極的に配布した。

認知症の対応困難事例については、繰り返しの訪問や本人と家族の意向を確認しながら精神的に負担が生じないように配慮した説明を心掛け、要介護認定申請からサービス利用を開始するまで支援を行うことができた。

認知症の家族に関する相談も増えている。対応についての助言や受診推奨、要介護認定の代行申請などの対応を行い、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、家族も含めて対応している。

⑧ 地域ケア会議について

地域ケア会議個別会議については、年度初めに地域の居宅介護支援センター管理者と意見交換を図り、年間計画を立て目標回数を達成できた。主催者側の立場として初めは準備から開催までの一連業務に時間がかかっていたが、少しずつ業務に慣れてきたと実感している。また、事例提供者はテーマの決定に悩んでいることが多く業務も多忙なため、指定日時に資料が整わないことも多かった。その際はセンターから事例提供者へ早めに連絡を取り、一緒にテーマを検討したり一部資料の提出を延期するなどの対応を図ることで負担を軽減し、予定通り開催できたと考える。

開催毎に介護支援専門員が抱える個別事例について情報収集不足に気づかされながらも、専門職から有益な助言・提案を受けることができ、支援の目的や方向性の統合を図ることができた。

地域ケア会議圏域会議については年度を通しての職員不足と経験不足により、見守りネットワーク構築に向けた開催ができなかったが、違うテーマで圏域会議を開催することができた。

⑨ 介護予防ケアマネジメント事業

介護支援専門員が利用者に対して包括的・継続的ケアマネジメントを提供できるよう、常時ケアプラン点検を実施している。その結果、支援計画書への助言や記載内容の修正などが適切に行われ、介護支援専門員のサポートができた。

⑩ 介護予防把握事業（実態把握）について

訪問歴の無い 75 歳以上の独居高齢者や年齢に関係なく情報提供があった住民を中心に訪問した。訪問の際に、「介護申請の相談をしたかった」「親戚にこんな人がいるけど、施設に入れないのか」との相談を受けることも数回あり、申請代行や施設入所の説明なども行ってきた。また、センターの業務に就いても訪問時にチラシを配布しながら説明を心掛け、センターの啓発に努めた。

訪問を快く受け入れてくれる方が多いが、今年度は 6 名の拒否があった。南郷地区は農業を営む家庭が多く、現役で働き続けている高齢者や、現役は退いたが近くの畑で畑仕事をしている高齢者が多い。一度の訪問ではなかなか本人に会えないことが多

いが農閑期に訪問し面談することができた。さらに集落が散在していることで移動距離も長く、訪問に時間を要するが、目標件数は達成できた。

⑪ 介護予防普及啓発事業（介護予防教室等）について

今年度も社協が受託する老人福祉センターと協働し、老人福祉センターの利用者をターゲットに介護予防教室を開催した。前年度は認知症関係の講座が大半を占めていたが、今年度は内容も運動、口腔、栄養、認知、その他と偏ることなく 22 回開催できた。参加人数は、南郷地区の人口減少もあり、数名～10 人弱が多かった。

サロンや町内会からの依頼も減少したが、都度対応している。

実態把握調査時に介護予防教室参加の意向も確認してきた。参加できない理由としてはコミュニティバスは曜日が決まっているため利用出来ない、コミュニティバスのステップが高くて乗れない、最寄りのバス停まで遠い、農業の従事、畑仕事草取りが優先、老化をありのままに受け入れる気質などが挙げられた。

⑫ 地域介護予防活動支援事業（ボランティア育成・活用）について

数年前まで登録されていたボランティア自身の体調不良等の理由から活動を終了する方が続いている。現在ボランティアの登録がない状態である。介護予防教室のチラシや民生委員定例会等で募集を呼び掛けているが、応募がこない状況が続いている。

認知症サポーター養成講座についても、職員の欠員が続いており開催できなかった。

⑬ 困難・虐待事例への対応

虐待事例については、対応実績が 2 件あった。1 件は高齢者夫婦二人暮らしで夫から妻への暴力行為だった。担当ケアマネと利用している事業所の相談員とケア会議を開催し、情報の共有と今後の方向性について検討した。近所の駐在所にも不定期ではあるが、見守りを兼ねた訪問を依頼した。長男夫婦の意向も聞き取りしていたが、妻が体調を崩した結果夫が施設へ入所し終結した。もう 1 件は元妻から元夫への暴力で集中支援期として対応中である。初動会議の要請や開催、安否確認、進行管理会議への出席、資料作成提出等、対応マニュアルに沿って対応できた。

⑭ 地域関係機関との連携（地域密着型運営推進会議への出席含む）

地域密着型運営推進会議出席

民生委員児童委員定例会：12 回

グループホームさいうん運営推進会議：6 回

特養クローバーズ・ピア（デイサービス含む）運営推進会議：6 回

運営推進会議では施設の利用状況や活動状況、インシデントやその対応状況等を共有し、当該施設の運営状況の把握に努めた。

老人クラブとの交流にも努め、心配な住民の情報も受けるようになった。ほとんどのセンター業務においては地域住民始め民生委員、自治会長、社協、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等地域関係者と密接に連携しながら業務に当たっている。特に民生委員からの相談は珍しくないが、地域関係機関からの相談を受けて民生委員に状況の確認を取るなど連携を図っている。

6. 運営推進会議の状況

① 特別養護老人ホーム ひだまり（計6回開催）

- 第1回 令和7年 5月21日（水）10：00～ 場所：ひだまり研修室
出席委員： 9名 欠席委員： 1名
＜主な内容＞
○ヒヤリはっと・事故報告・活動報告について
○嘱託医変更について
- 第2回 令和7年 7月16日（水）10：00～ 場所：ひだまり研修室
出席委員： 8名 欠席委員： 2名
＜主な内容＞
○ヒヤリはっと・事故報告・活動報告について
○面会、夕涼み会について
- 第3回 令和7年 9月17日（水）10：00～ 場所：ひだまり研修室
出席委員：9名 欠席委員：1名
＜主な内容＞
○ヒヤリはっと・事故報告・活動報告について
○面会制限緩和について
- 第4回 令和7年11月19日（水）10：00～ 場所：ひだまり研修室
出席委員： 8名 欠席委員： 2名
＜主な内容＞
○ヒヤリはっと・事故報告・活動報告について
○委任状交付（管理者変更に伴う1名）
○福祉フェス、社員旅行について
- 第5回 令和8年 1月21日（水）10：00～ 場所：ひだまり研修室
出席委員：9名 欠席委員：1名
＜主な内容＞
○ヒヤリはっと・事故報告・活動報告について
○生活相談員変更について
- 第6回 令和8年 3月18日（水）10：00～ 場所：ひだまり研修室
出席委員：6名 欠席委員：4名
＜主な内容＞
○ヒヤリはっと・事故報告・活動報告について
○生産性向上体制加算の算定について
○来年度の活動予定について

② 特別養護老人ホーム 能舞の里

第1回 令和7年4月30日（水）

〈主な内容〉

- ① 委嘱状交付
- ② 令和7年度事業計画等について
- ③ 利用状況報告について〔12月～3月〕
- ④ 給食業務の直営について
- ⑤ 令和6年度後期広報誌について

第2回 令和7年10月3日（金）

〈主な内容〉

- ① 利用状況報告について〔4月～8月〕
- ② 行事・給食報告と予定について〔4月～10月〕
- ③ 前期広報誌誌について

③ 特別養護老人ホーム しおさい岬（計6回開催）

第1回 令和7年4月8日（火） 14:00～ 場所： しおさい岬ホール

出席委員： 9名 欠席委員： 1名

〈主な内容〉

- 職員体制
- 入居者状況

第2回 令和7年6月6日（金） 14:00～ 場所： しおさい岬ホール

出席委員： 9名 欠席委員： 1名

〈主な内容〉

- 委嘱状交付
- 事業計画
- 本部の所在地変更の報告

第3回 令和7年8月19日（火） 14:00～ 場所： しおさい岬ホール

出席委員： 9名 欠席委員： 1名

〈主な内容〉

- 入居者の状況
- 施設の活動状況

第4回 令和7年10月10日（木） 14:00～ 場所： しおさい岬ホール

出席委員： 9名 欠席委員： 1名

〈主な内容〉

- 入居者の状況
- 施設の活動状況
- 人員募集について

第5回 令和 7 年 11 月 27 日（火） 14：00～ 場所： しおさい岬ホール
出席委員：9名 欠席委員：1名

<主な内容>

- 入居者の状況
- 施設の活動状況
- 委嘱状の交付

第6回 令和 8 年 3 月 4 日（木） 14：00～ 場所： しおさい岬ホール
出席委員：8名 欠席委員：2名

<主な内容>

- 入居者の状況
- 施設の活動状況

④ 特別養護老人ホーム ラ・メール白山台（計6回開催）

第1回 令和7年 5 月 9 日（金）10：00～ 場所：ラ・メール白山台 研修室
出席委員： 6名 欠席委員： 2名

<主な内容>

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 八戸看護専門学校の実習生受け入れについて

第2回 令和7年7月11日（金）10：00～ 場所：ラ・メール白山台 研修室
出席委員： 5名 欠席委員： 2名

<主な内容>

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 眠りスキヤンの導入と活用について

第3回 令和7年9月12日（金）10：00～ 場所：ラ・メール白山台 研修室
出席委員： 4名 欠席委員： 3名

<主な内容>

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 津波警報発令によるラ・メール小中野の避難について

第4回 令和7年11月14日（金）10：00～ 場所：ラ・メール白山台 研修室
出席委員： 6名 欠席委員： 1名
＜主な内容＞
○活動状況について
○ひやりはっと・事故報告について
○福祉フェスティバルについて
○”子ども・女性11番の家”登録について

第5回 令和8年1月9日（金） 10：00 ～ 場所：ラ・メール白山台 研修室
出席委員： 6名 欠席委員： 1名
＜主な内容＞
○活動状況について
○ひやりはっと・事故報告について
○外国人技能実習生3期生の受け入れについて

第6回 令和8年3月13日（金）10：00～ 場所：ラ・メール白山台 研修室
出席委員： 4名 欠席委員： 3名
＜主な内容＞
○活動状況について
○ひやりはっと・事故報告について
○面会制限の緩和について

⑤ 特別養護老人ホーム ラ・メール小中野（計6回）

第1回 令和7年5月23日（水）10：30～ 場所：ラ・メール小中野 研修室
出席委員： 5名 欠席委員： 0名
＜主な内容＞
○活動状況について
○ひやりはっと・事故報告について
○面会制限について

第2回 令和7年7月16日（水）10：30～ 場所：ラ・メール小中野 研修室
出席委員： 5名 欠席委員： 1名
＜主な内容＞
○活動状況について
○ひやりはっと・事故報告について
○外国人実習生弁論大会について、夜勤職員配置加算の算定について

第3回 令和7年9月17日（水）10：30～ 場所：ラ・メール小中野 研修室
出席委員： 3名 欠席委員： 3名
＜主な内容＞

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 東方沖地震に伴う避難について

第4回 令和7年11月26日（水）10：30～ 場所：ラ・メール小中野 研修室
出席委員： 3名 欠席委員： 2名

<主な内容>

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 避難行動計画について、面会制限の緩和について

第5回 令和8年1月14日（水）10：30～ 場所：ラ・メール小中野 研修室
出席委員： 4名 欠席委員： 1名

<主な内容>

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 行事について
- 避難行動計画と今後の訓練について

第6回 令和8年3月18日（水）10：30～ 場所：ラ・メール小中野 研修室
出席委員： 6名（市役所職員参加で1名増） 欠席委員： 0名

<主な内容>

- 活動状況について
- ひやりはっと・事故報告について
- 生産性向上推進体制加算についておよび ICT 化について

⑥ グループホーム みろく苑（計6回開催）

第1回 令和7年4月17日（木）14：00～15：00 場所：みろく苑 会議室
出席委員：7名 欠席委員：1名

<主な内容>

- 事業内容及び活動報告
- R7年度事業計画（案）について
- 会議開催日程予定（案）

第2回 令和7年6月19日（木）14：00～15：00 場所：みろく苑 会議室
出席委員：6名 欠席委員：2名

<主な内容>

- 事業内容及び活動報告
- R6年度事業報告について
- みろく苑祭りについて

- 第3回 令和7年8月21日(木) 14:00～15:00 場所:みろく苑 会議室
出席委員:5名 欠席委員:3名
<主な内容>
○事業内容及び活動報告
○外部評価について
○みろく苑祭りについて
- 第4回 令和7年10月16日(木) 14:00～15:00 場所:みろく苑 会議室
出席委員:7名 欠席委員:1名
<主な内容>
○事業内容及び活動報告
○外部評価実施について
- 第5回 令和7年12月18日(木) 14:00～15:00 場所:みろく苑 会議室
出席委員:5名 欠席委員:3名
<主な内容>
○事業内容及び活動報告
○外部評価結果について
○外国人技能実習生について
- 第6回 令和8年2月19日(木) 14:00～15:00 場所:みろく苑 会議室
出席委員:7名 欠席委員:1名
<主な内容>
○事業内容及び活動報告
○外国人技能実習生について
○任期期間満了について

⑦ グループホームみろくの郷(計6回開催)

- 第1回 令和7年4月24日(水) 18:00～ 場所:けんど玄関ホール
出席委員:5名 欠席委員:1名
<主な内容>
○事業内容及び活動状況について報告
○R7年度事業計画について
- 第2回 令和7年6月25日(水) 18:00～ 場所:けんど玄関ホール
出席委員:5名 欠席委員:1名
<主な内容>
○事業内容及び活動状況について報告
○事業所統合についての説明

- 第3回 令和 7年 8月 25日(月) 18:00 ～ 場所: けんど玄関ホール
出席委員: 5名 欠席委員: 0名
<主な内容>
○事業内容及び活動状況について報告
○みろくの郷祭りについてのお知らせ
- 第4回 令和 7年 10月 27日(月) 18:00 ～ 場所: けんど玄関ホール
出席委員: 6名 欠席委員: 0名
<主な内容>
○事業内容及び活動状況について報告
○新しい委員の方について紹介
○みろくの郷祭りについて報告
- 第5回 令和 7年 12月 9日(火) 18:00 ～ 場所: けんど玄関ホール
出席委員: 6名 欠席委員: 0名
<主な内容>
○事業内容及び活動状況について報告
○外部評価実施について報告
- 第6回 令和 8年 2月 10日(火) 18:00 ～ 場所: けんど玄関ホール
出席委員: 4名 欠席委員: 1名
<主な内容>
○事業内容及び活動状況について報告
○外部評価結果について
○来年度の運営推進委員について

○令和7年度 吉幸会事業実績一覧(R7.4月～R8.3月)

[illegible]

○令和7年度 古幸会事業実績一覧(特養)

【月当たり平均稼働率】

◎みろく苑

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	50人	50人	10人	10人	60人	60人
稼働率	94.1%	88.9%	99.9%	105.7%	95.1%	91.7%

◎ゆうなぎの里

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	39人	39人	0人	0人	39人	39人
稼働率	93.7%	92.6%	0.8%	1.5%	94.5%	94.1%

◎ひだまり

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	97.8%	94.6%	92.7%	99.5%	96.5%	95.9%

◎しおさい岬

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	94.8%	93.4%	93.6%	99.4%	94.5%	95.0%

◎野辺地ホーム

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	80人	80人	4人	4人	84人	84人
稼働率	80.5%	80.4%	226.6%	137.5%	84.7%	82.3%

◎能舞の里

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	95.4%	93.4%	98.1%	99.4%	96.1%	94.9%

◎ラ・メール白山台

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	99.0%	99.3%	98.6%	97.8%	98.9%	98.9%

◎いちいの森

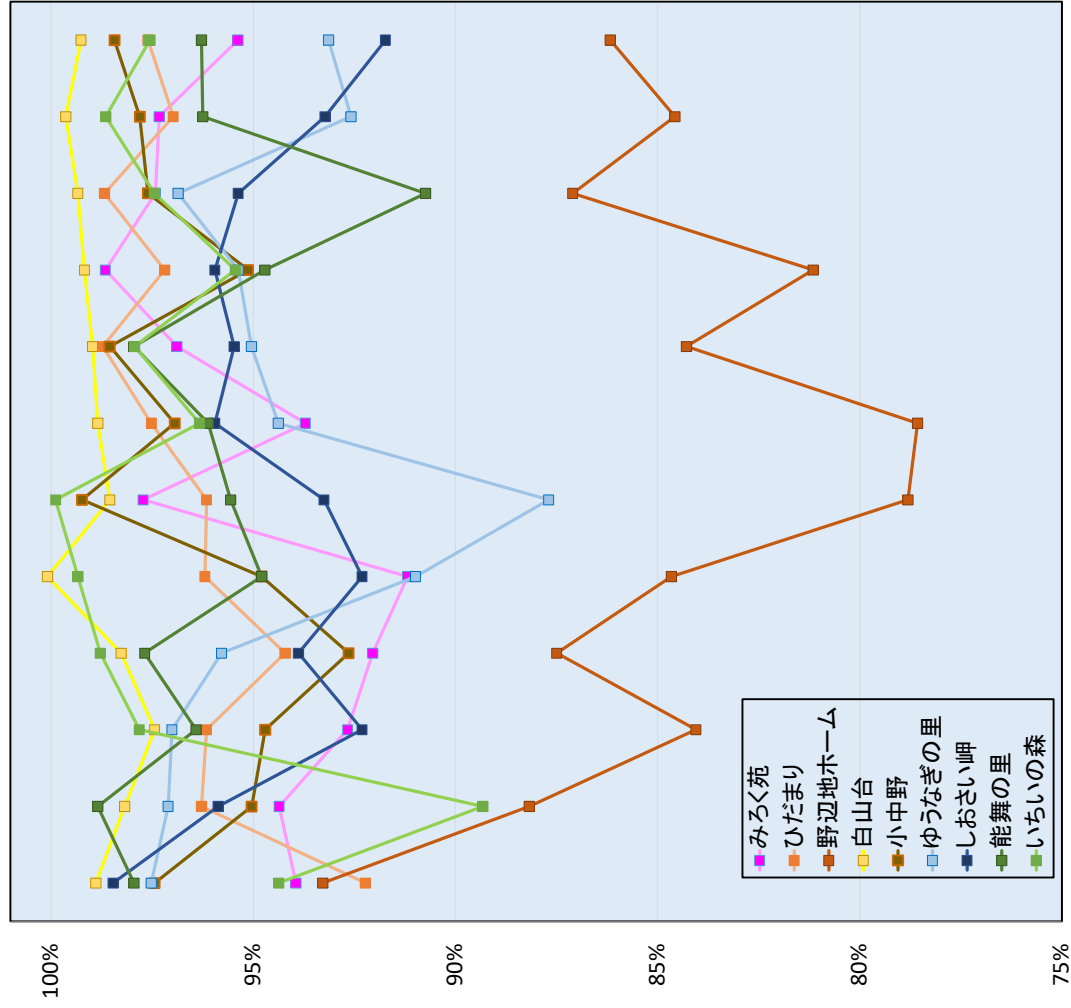
項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	0人	0人	29人	29人
稼働率	95.0%	93.9%	1.5%	2.6%	96.9%	96.6%

◎ラ・メール小中野

項目	特 養		ショート		合 算	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
定 員	29人	29人	10人	10人	39人	39人
稼働率	94.6%	96.1%	101.9%	96.7%	96.5%	96.2%

事業稼働率グラフ(特養)

稼働率



○令和7年度 吉幸会事業実績一覧（GH・デイ・居宅・保育所）

【月当たり平均稼働率】

◎GHみろく苑

項目	GHみろく苑
	前年度
定員	27人
稼働率	99.6%

◎GHみろくの郷

項目	GHみろくの郷
	前年度
定員	18人
稼働率	98.1%

◎デイみろく

項目	デイ
	前年度
定員	23人
稼働率	65.3%

◎居宅郷

項目	居宅郷
	前年度
定員	134人
稼働率	89.2%

◎佐井村保育所

項目	保育所
	前年度
児童数	278人
	33.3人

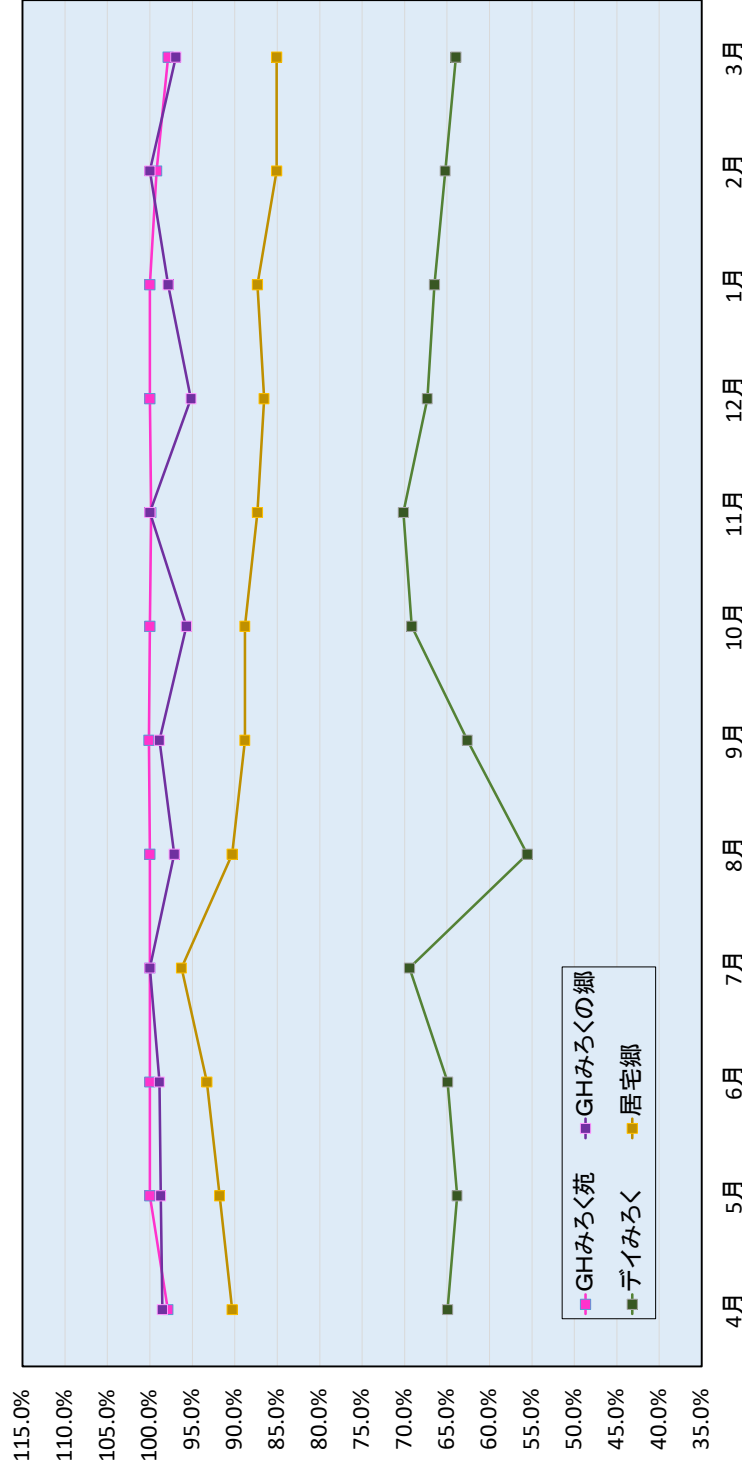
◎支援センターなんごう

項目	なんごう
	前年度
相談件数	125件
	114件

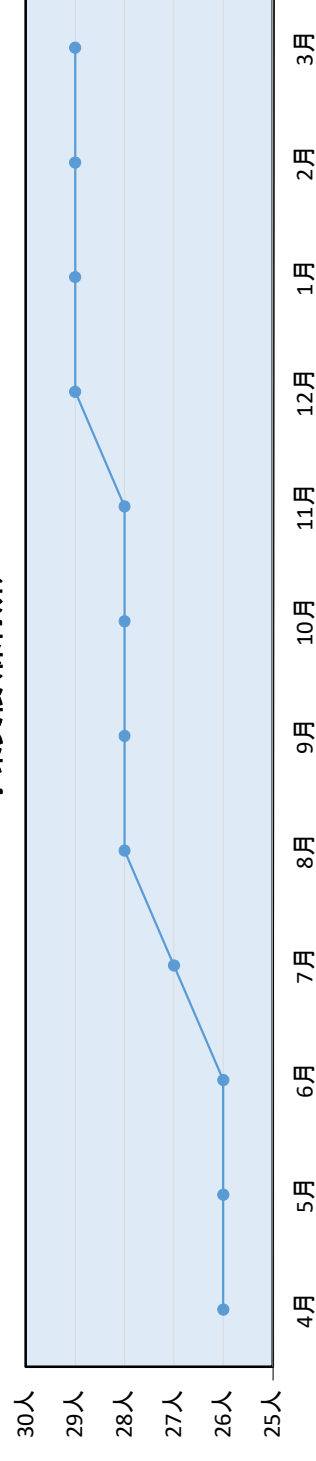
※グループホームの実績は短期利用者も含んでいます。
※ショートステイの実績には介護予防利用者も含んでいます。
※端数は小数点第2位以下を四捨五入しています。

事業稼働率（GH・デイ・居宅）

稼働率



事業実績（保育所）



8. 利用者の状況

①特養みろく苑

区分	特別養護老人ホームみろく苑	
	男性	女性
40～69歳	0人	2人
70～79歳	3人	3人
80～89歳	7人	15人
90歳以上	9人	23人
小計	19人	43人
合計	62人	
平均年齢	88.4歳	88.0歳
	88.1歳	88.1歳

②SSみろく苑

区分	シヨースティみろく苑	
	男性	女性
40～69歳	1人	1人
70～79歳	2人	4人
80～89歳	10人	14人
90歳以上	7人	27人
小計	20人	46人
合計	66人	
平均年齢	86.9歳	89.3歳
	88.6歳	88.6歳

③GHみろく苑

区分	グループホームみろく苑	
	男性	女性
40～69歳	0人	0人
70～79歳	3人	3人
80～89歳	2人	5人
90歳以上	2人	12人
小計	7人	20人
合計	27人	
平均年齢	86.1歳	88.3歳
	87.7歳	87.7歳

④SSGHみろく苑

区分	短期利用グループホームみろく苑	
	男性	女性
40～69歳	0人	0人
70～79歳	0人	1人
80～89歳	0人	1人
90歳以上	0人	0人
小計	0人	2人
合計	2人	
平均年齢	78.5歳	78.5歳

⑤デイみろく苑

区分	デイサービスセンターみろく苑	
	男性	女性
40～69歳	2人	1人
70～79歳	7人	6人
80～89歳	13人	22人
90歳以上	5人	36人
小計	27人	65人
合計	92人	
平均年齢	81.8歳	88.8歳
	86.6歳	86.6歳

⑥GHみろくの郷

区分	グループホームみろくの郷けんど	
	男性	女性
40～69歳	0人	0人
70～79歳	1人	2人
80～89歳	1人	7人
90歳以上	1人	14人
小計	3人	23人
合計	26人	
平均年齢	87.3歳	92.3歳
	90.9歳	90.9歳

⑦SSGHみろくの郷

区分	SSGHみろくの郷けんど	
	男性	女性
40～69歳	0人	0人
70～79歳	1人	1人
80～89歳	0人	1人
90歳以上	0人	0人
小計	1人	2人
合計	3人	
平均年齢	76.0歳	84.0歳
	81歳	81歳

年齢別

保険者別

区分	特別養護老人ホームみろく苑	
	男性	女性
田子町	10人	34人
三戸町	9人	7人
南部町		1人
二戸市		1人
小計	19人	43人
合計	62人	
	71.0%	28.0%

区分	シヨースティみろく苑	
	男性	女性
田子町	15人	39人
三戸町	4人	5人
二戸市	1人	2人
小計	20人	46人
合計	66人	
	81.8%	18.2%

区分	グループホームみろく苑	
	男性	女性
田子町	7人	20人
小計	7人	20人
合計	27人	
	100.0%	100.0%

区分	SSGHグループホームみろく苑	
	男性	女性
田子町	0人	2人
小計	0人	2人
合計	2人	
	100.0%	100.0%

区分	デイサービスセンターみろく苑	
	男性	女性
田子町	22人	55人
三戸町	4人	6人
二戸市	4人	1人
小計	30人	62人
合計	92人	
	83.7%	16.3%

区分	グループホームみろくの郷けんど	
	男性	女性
田子町	3人	23人
小計	3人	23人
合計	26人	
	100.0%	100.0%

区分	GHSSみろくの郷けんど	
	男性	女性
田子町	1人	2人
小計	1人	2人
合計	3人	
	100.0%	100.0%

P-57

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
 ※年齢は、3月31日を基準に算出しています。
 ※上記各項目の構成比については、小数点以下第2位を

$$H \sim \mathbb{Z}$$

特養みろく苑 S S みろく苑

年 齢 別

⑧ 居宅みろくの郷

区分	男性	女性	割合
40～69歳	7人	2人	5.3%
70～79歳	12人	16人	16.4%
80～89歳	27人	41人	39.8%
90歳以上	10人	56人	38.6%
小計	56人	115人	
合計	171人		
平均年齢	82.7歳	87.0歳	85.6歳

⑨ 特養ひだまり

区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	0人	0.0%
70～79歳	3人	1人	11.8%
80～89歳	3人	11人	41.2%
90歳以上	2人	14人	47.1%
小計	8人	26人	
合計	34人		
平均年齢	85.3歳	90.3歳	89.5歳

⑩ SSひだまり

区分	男性	女性	割合
40～69歳	2人	1人	4.8%
70～79歳	7人	1人	12.7%
80～89歳	11人	16人	42.9%
90歳以上	4人	21人	39.7%
小計	24人	39人	
合計	63人		
平均年齢	83.3歳	87.6歳	86.4歳

⑪ 特養ラ・メール白山台

区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	0人	0.0%
70～79歳	5人	1人	17.1%
80～89歳	2人	19人	60.0%
90歳以上	1人	7人	22.9%
小計	8人	27人	
合計	35人		
平均年齢	79.0歳	89.7歳	84.4歳

⑫ SSラ・メール白山台

区分	男性	女性	割合
40～69歳	1人	1人	5.4%
70～79歳	1人	3人	10.8%
80～89歳	2人	19人	56.8%
90歳以上	0人	10人	27.0%
小計	4人	33人	
合計	37人		
平均年齢	82.1歳	87.2歳	84.7歳

⑬ ラ・メール小中野

区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	1人	2.8%
70～79歳	1人	6人	19.4%
80～89歳	2人	8人	27.8%
90歳以上	4人	14人	50.0%
小計	7人	29人	
合計	36人		
平均年齢	84.8歳	87.8歳	86.3歳

⑭ SSラ・メール小中野

区分	男性	女性	割合
40～69歳	4人	1人	5.2%
70～79歳	7人	8人	15.5%
80～89歳	24人	22人	47.4%
90歳以上	4人	27人	32.0%
小計	39人	58人	
合計	97人		
平均年齢	86.0歳	84.9歳	85.5歳

保 険 者 別

区分	男性	女性	割合
田子町	49人	98人	86.0%
三戸町	7人	16人	13.5%
川崎市	0人	1人	0.6%
小計	56人	115人	
合計	171人		

区分	男性	女性	割合
五戸町	8人	26人	100.0%
小計	8人	26人	
合計	34人		

区分	男性	女性	割合
五戸町	15人	27人	66.7%
新郷村	4人	5人	14.3%
三戸町	2人	3人	7.9%
田子町	1人	1	3.2%
南部町	0人	1	1.6%
八戸市	1人	2	4.8%
十和田市	0人	0	0.0%
二戸市	1人	0人	1.6%
小計	24人	39人	
合計	63人		

区分	男性	女性	割合
八戸市	8人	27人	100.0%
小計	8人	27人	
合計	35人		

区分	男性	女性	割合
八戸市	4人	31人	94.6%
階上町	0人	1人	2.7%
三戸町	0人	1人	2.7%
二戸地区	0人	0人	
五戸町	0人	0人	
田子町	0人	0人	
小計	4人	33人	
合計	37人		

区分	男性	女性	割合
八戸市	7人	29人	100.0%
小計	7人	29人	
合計	36人		

区分	男性	女性	割合
八戸市	38人	58人	99.0%
新郷村	0人	0人	
五戸町	1人	0人	1.0%
盛岡市	0人	0人	
二戸地区	0人	0人	
三戸町	0人	0人	
小計	39人	58人	
合計	97人		

要介護度別

居宅介護支援センターみろくの郷	男性	女性	割合
区分	11人	25人	21.1%
要介護1	18人	32人	29.2%
要介護2	7人	24人	18.1%
要介護3	15人	22人	21.6%
要介護4	5人	12人	9.9%
要介護5	56人	115人	
小計	171人		
合計			2.7
平均介護度			

特別養護老人ホームひだまり	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	1人	2.9%
要介護2	1人	7人	23.5%
要介護3	4人	15人	55.9%
要介護4	3人	3人	17.6%
要介護5	8人	26人	
小計	34人		
合計			3.9
平均介護度			

ショートステイひだまり	男性	女性	割合
区分	4人	3人	11.1%
要介護1	6人	7人	20.6%
要介護2	4人	15人	30.2%
要介護3	9人	8人	27.0%
要介護4	1人	6人	11.1%
要介護5	24人	39人	
小計	63人		
合計			3.1
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	2人	0人	5.7%
要介護3	2人	15人	48.6%
要介護4	4人	12人	45.7%
要介護5	8人	27人	
小計	35人		
合計			4.4
平均介護度			

ショートステイラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

ショートステイラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

居宅介護支援センターみろくの郷	男性	女性	割合
区分	11人	25人	21.1%
要介護1	18人	32人	29.2%
要介護2	7人	24人	18.1%
要介護3	15人	22人	21.6%
要介護4	5人	12人	9.9%
要介護5	56人	115人	
小計	171人		
合計			2.7
平均介護度			

特別養護老人ホームひだまり	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	1人	2.9%
要介護2	1人	7人	23.5%
要介護3	4人	15人	55.9%
要介護4	3人	3人	17.6%
要介護5	8人	26人	
小計	34人		
合計			3.9
平均介護度			

ショートステイひだまり	男性	女性	割合
区分	4人	3人	11.1%
要介護1	6人	7人	20.6%
要介護2	4人	15人	30.2%
要介護3	9人	8人	27.0%
要介護4	1人	6人	11.1%
要介護5	24人	39人	
小計	63人		
合計			3.1
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	2人	0人	5.7%
要介護3	2人	15人	48.6%
要介護4	4人	12人	45.7%
要介護5	8人	27人	
小計	35人		
合計			4.4
平均介護度			

ショートステイラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

ショートステイラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

居宅介護支援センターみろくの郷	男性	女性	割合
区分	11人	25人	21.1%
要介護1	18人	32人	29.2%
要介護2	7人	24人	18.1%
要介護3	15人	22人	21.6%
要介護4	5人	12人	9.9%
要介護5	56人	115人	
小計	171人		
合計			2.7
平均介護度			

特別養護老人ホームひだまり	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	1人	2.9%
要介護2	1人	7人	23.5%
要介護3	4人	15人	55.9%
要介護4	3人	3人	17.6%
要介護5	8人	26人	
小計	34人		
合計			3.9
平均介護度			

ショートステイひだまり	男性	女性	割合
区分	4人	3人	11.1%
要介護1	6人	7人	20.6%
要介護2	4人	15人	30.2%
要介護3	9人	8人	27.0%
要介護4	1人	6人	11.1%
要介護5	24人	39人	
小計	63人		
合計			3.1
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	2人	0人	5.7%
要介護3	2人	15人	48.6%
要介護4	4人	12人	45.7%
要介護5	8人	27人	
小計	35人		
合計			4.4
平均介護度			

ショートステイラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

ショートステイラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

居宅介護支援センターみろくの郷	男性	女性	割合
区分	11人	25人	21.1%
要介護1	18人	32人	29.2%
要介護2	7人	24人	18.1%
要介護3	15人	22人	21.6%
要介護4	5人	12人	9.9%
要介護5	56人	115人	
小計	171人		
合計			2.7
平均介護度			

特別養護老人ホームひだまり	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	1人	2.9%
要介護2	1人	7人	23.5%
要介護3	4人	15人	55.9%
要介護4	3人	3人	17.6%
要介護5	8人	26人	
小計	34人		
合計			3.9
平均介護度			

ショートステイひだまり	男性	女性	割合
区分	4人	3人	11.1%
要介護1	6人	7人	20.6%
要介護2	4人	15人	30.2%
要介護3	9人	8人	27.0%
要介護4	1人	6人	11.1%
要介護5	24人	39人	
小計	63人		
合計			3.1
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	2人	0人	5.7%
要介護3	2人	15人	48.6%
要介護4	4人	12人	45.7%
要介護5	8人	27人	
小計	35人		
合計			4.4
平均介護度			

ショートステイラ・メール白山台	男性	女性	割合
区分	0人	0人	
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

特別養護老人ホームラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

ショートステイラ・メール小中野	男性	女性	割合
区分	0人	0人	0.0%
要介護1	1人	0人	2.7%
要介護2	1人	6人	18.9%
要介護3	4人	16人	54.1%
要介護4	2人	7人	24.3%
要介護5	8人	29人	
小計	37人		
合計			4.0
平均介護度			

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。
※上記各項目の構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合があります。

居宅みろくの郷

田子町住民の利用者が8割以上となっている。80歳以上が7割以上となっており同居や高齢者世帯が多くなくなっていることから居宅サービスを利用することなく施設入所に向けた対応をすることが多く計画に盛り込めないケースが増えてきている。

特養ひだまり

入所利用中に更新があり、要介護度4→5になった方もいたが、3→2へ変更となった方がいた。年度末頃に退所された方が数名続き、新たに入所された方の要介護度が3の方が多かった。

SSひだまり

比較的年齢が若い方も利用されていて、平均年齢も若い方となった。五戸町・新郷村の方々が約8割以上を占めていた。介護度3の方の受け入れが多く、平均介護度が軽かった。

SSラ・メール白山台

地域密着型サービスのため、利用者様全員が八戸市に在籍。要介護4・5の利用者様が約64.9%で平均介護度が3.1。平均年齢は男性82.1歳・女性87.2歳で男女差が5歳、全体平均で84.4歳。

SSラ・メール白山台

利用者の94.6%が八戸市に在籍しているが近隣市町村からの利用もある。要介護3～5の利用者様が64.9%で平均介護度が3.1。平均年齢は男性82.1歳・女性87.2歳で男女差が5歳、全体平均で84.7歳。

特養ラ・メール小中野

地域密着型サービスのため入所者全員が八戸市に住所がある。約78%が要介護度4と5である。平均年齢は男性84歳、女性87歳となっている。

SSラ・メール小中野

五戸町1名以外は八戸市の利用者となっている。昨年度は要介護2～4で80%を占めていたが、今年度は、より介護度が重い方の利用を進めたため、今年度は要介護度4～5が80%を占めている。

まとめ

年 齢 別

⑮特養野辺地ホーム

区分	特別養護老人ホーム野辺地ホーム	
	男性	女性
40～69歳	6人	1人
70～79歳	7人	4人
80～89歳	5人	26人
90歳以上	2人	35人
小計	20人	66人
合計	86人	
平均年齢	男性	女性
	83.7歳	90.0歳
割合		全体
		88.8歳

⑯SS野辺地ホーム

区分	シヨーステイ野辺地ホーム	
	男性	女性
40～69歳	5人	0人
70～79歳	1人	2人
80～89歳	3人	8人
90歳以上	2人	5人
小計	11人	15人
合計	26人	
平均年齢	男性	女性
	89.0歳	91.7歳
割合		全体
		91.3歳

⑰特養ゆうなぎの里

区分	特別養護老人ホームゆうなぎの里	
	男性	女性
40～69歳	0人	1人
70～79歳	5人	2人
80～89歳	6人	19人
90歳以上	2人	15人
小計	13人	37人
合計	50人	
平均年齢	男性	女性
	85.1歳	89.3歳
割合		全体
		88.0歳

⑱SSゆうなぎの里

区分	シヨーステイゆうなぎの里	
	男性	女性
40～69歳	0人	0人
70～79歳	1人	0人
80～89歳	0人	4人
90歳以上	0人	0人
小計	1人	4人
合計	5人	
平均年齢	男性	女性
	82.8歳	83.3歳
割合		全体
		83.4歳

⑲特養しおさい岬

区分	特別養護老人ホームしおさい岬	
	男性	女性
40～69歳	0人	1人
70～79歳	2人	5人
80～89歳	2人	7人
90歳以上	2人	15人
小計	6人	28人
合計	34人	
平均年齢	男性	女性
	85.0歳	84.8歳
割合		全体
		84.8歳

⑳SSしおさい岬

区分	シヨーステイしおさい岬	
	男性	女性
40～69歳	0人	1人
70～79歳	5人	5人
80～89歳	8人	15人
90歳以上	3人	11人
小計	16人	32人
合計	48人	
平均年齢	男性	女性
	78.5歳	85.0歳
割合		全体
		81.6歳

㉑能舞の里

区分	特別養護老人ホーム能舞の里	
	男性	女性
40～69歳	1人	0人
70～79歳	1人	6人
80～89歳	4人	7人
90歳以上	3人	13人
小計	9人	26人
合計	35人	
平均年齢	男性	女性
	85.4歳	89.4歳
割合		全体
		88.3歳

保 険 者 別

区分	特別養護老人ホーム野辺地ホーム	
	男性	女性
野辺地町	14人	56人
六ヶ所村	0人	5人
東通村	0人	1人
横浜町	3人	3人
東北町	0人	1人
むつ市	0人	1人
青森市	3人	0人
小計	20人	66人
合計	86人	

区分	シヨーステイ野辺地ホーム	
	男性	女性
野辺地町	5人	11人
東通村	1人	1人
東北町	3人	1人
横浜町	1人	1人
七戸町	0人	1人
青森市	1人	0人
小計	11人	15人
合計	26人	

区分	特別養護老人ホームゆうなぎの里	
	男性	女性
佐井村	5人	24人
大間町	5人	4人
風間浦村	2人	5人
むつ市	1人	4人
小計	13人	37人
合計	50人	

区分	シヨーステイゆうなぎの里	
	男性	女性
佐井村	1人	3人
大間町	0人	0人
風間浦村	0人	0人
むつ市	0人	1人
小計	1人	4人
合計	5人	

区分	特別養護老人ホームしおさい岬	
	男性	女性
大間町	6人	16人
風間浦村	1人	8人
佐井村		3人
小計	7人	27人
合計	34人	

区分	シヨーステイしおさい岬	
	男性	女性
大間町	5人	11人
風間浦村	6人	13人
佐井村	3人	7人
むつ市	1人	2人
小計	15人	33人
合計	48人	

区分	特別養護老人ホーム能舞の里	
	男性	女性
東通村	9人	26人
小計	9人	26人
合計	35人	

要介護度別

特別養護老人ホーム野辺地ホーム	区分	男性	女性	割合
	要介護1	1人	0人	1.2%
	要介護2	1人	0人	1.2%
	要介護3	2人	6人	9.3%
	要介護4	10人	40人	58.1%
	要介護5	6人	20人	30.2%
	小計	20人	66人	
	合計	86人		
	平均介護度	4.2		

シヨーストステイ野辺地ホーム	区分	男性	女性	割合
	要支援1	0人	0人	0.0%
	要支援2	0人	0人	0.0%
	要介護1	2人	2人	15.4%
	要介護2	2人	2人	15.4%
	要介護3	2人	4人	23.1%
	要介護4	3人	3人	23.1%
	要介護5	2人	4人	23.1%
	小計	11人	15人	
	合計	26人		
	平均介護度	3.2		

特別養護老人ホームゆうなぎの里	区分	男性	女性	割合
	要支援1	0人	0人	0.0%
	要支援2	0人	0人	0.0%
	要介護3	4人	8人	24.0%
	要介護4	5人	17人	44.0%
	要介護5	4人	12人	32.0%
	小計	13人	37人	
	合計	50人		
	平均介護度	4.1		

シヨーストステイゆうなぎの里	区分	男性	女性	割合
	要支援1	0人	0人	0.0%
	要支援2	0人	0人	0.0%
	要介護1	0人	0人	0.0%
	要介護2	0人	1人	0.0%
	要介護3	1人	1人	33.3%
	要介護4	0人	3人	50.0%
	要介護5	0人	0人	
	小計	1人	5人	
	合計	6人		
	平均介護度	3.3		

特別養護老人ホームしおさい岬	区分	男性	女性	割合
	要介護1	0人	1人	2.9%
	要介護2	1人	0人	2.9%
	要介護3	2人	6人	23.5%
	要介護4	3人	13人	47.1%
	要介護5	1人	7人	23.5%
	小計	7人	27人	
	合計	34人		
	平均介護度	3.9		

シヨーストステイしおさい岬	区分	男性	女性	割合
	要支援1	0人	0人	0.0%
	要支援2	0人	1人	2.1%
	要介護1	3人	4人	14.6%
	要介護2	5人	4人	18.8%
	要介護3	4人	9人	27.1%
	要介護4	1人	11人	25.0%
	要介護5	2人	4人	12.5%
	小計	15人	33人	
	合計	48人		
	平均介護度	3.0		

特別養護老人ホーム能舞の里	区分	男性	女性	割合
	要支援1	0人	0人	0.0%
	要支援2	0人	0人	0.0%
	要介護1	0人	0人	0.0%
	要介護2	0人	0人	0.0%
	要介護3	2人	5人	20.0%
	要介護4	6人	7人	37.1%
	要介護5	1人	14人	42.9%
	小計	9人	26人	
	合計	35人		
	平均介護度	4.2		

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。
※上記各項目の構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合があります。

特養野辺地ホーム	入居者の90歳以上の割合が43%と高い状況であるが、老衰持病等による退所者や長期入院者数も多くなっている。また、P Rと呼びかけにより、近隣市町村からも2割程度と満遍なく入居がある状況です。
SS野辺地ホーム	施設のP Rや地域の居宅介護事業所等との連携により、地元だけではなく近隣市町村からの利用もあつて、定員の4床を超え、空床活用も図り、ロングシヨースト及び2週間程度の居室利用を含むせ、適切なベットコントロールを進め利用の拡充を図りました。
特養ゆうなぎの里	令和7年度新規入所者が70台の方々が多く入所された。平均年齢は男性83.3歳、女性83.4歳、全体の平均は83.4歳となった。利用者は佐井村の方が多く、その他はむつ市1名となっていた。利用者の平均介護度は3.6となった。
SSゆうなぎの里	シヨーストステイ利用者の平均年齢は男性82.8歳、女性83.3歳、全体の平均は83.4歳となった。利用者は佐井村の方が多く、その他はむつ市1名となっていた。利用者の平均介護度は3.6となった。
特養しおさい岬	入所者の内、90歳以上の方が50%と半数を占め、平均年齢が84.8歳となっている。平均介護度は前年度4.1に対して3.9と要介護4以上の方が若干減り、特列入所1名が要介護1となった為、平均介護度が下がっている。今後、特列入所の処遇を検討していく。
SSしおさい岬	要支援の方は1名、一人暮らしの方が利用。前年度の平均介護度2.5に対し要介護3と介護度が上がっている。この要因として、大間病院退院後、在宅介護になる方より入所希望の方が増え、病院から直接、入所待ちのシヨーストステイ利用の方が増えたことによるものである。また、前年度より利用者の総数が多いのはSS利用者の入所が増え、利用変動が著しかった事による。
特養能舞の里	地域密着型施設のため、利用者は全て東通村である。70歳から79歳の占める割合が20%で、80歳から90歳以上の占める割合が77%弱となっており、要介護度も3・4が全体の57%強を占め、5占める割合が42%強を占めている。

まとめ

※集計期間は、4月1日～3月31日までとしております。
※年齢は、3月31日を基準に算出しています。
※上記各項目の構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合があります。

②SSいちいの森

②特養いちいの森

②SS能舞の里

シヨーストステイ能舞の里				特別養護老人ホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
40～69歳	1人	0人	1.9%	40～69歳	0人	1人	2.9%
70～79歳	5人	2人	13.2%	70～79歳	4人	0人	11.4%
80～89歳	10人	15人	47.2%	80～89歳	1人	6人	20.0%
90歳以上	8人	12人	37.7%	90歳以上	3人	20人	65.7%
小計	24人	29人	／	小計	8人	27人	／
合計	53人			合計	35人		
平均年齢	84.1歳	90.1歳	87.1歳	平均年齢	83.0歳	90.0歳	88.0歳

シヨーストステイいちいの森				特別養護老人ホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合	区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	1人	7.1%	40～69歳	0人	1人	2.9%
70～79歳	2人	2人	28.6%	70～79歳	4人	0人	11.4%
80～89歳	1人	3人	28.6%	80～89歳	1人	6人	20.0%
90歳以上	2人	3人	35.7%	90歳以上	3人	20人	65.7%
小計	5人	9人	／	小計	8人	27人	／
合計	14人			合計	35人		
平均年齢	84.0歳	91.0歳	89.0歳	平均年齢	83.0歳	90.0歳	88.0歳

特別養護老人ホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	1人	2.9%
70～79歳	4人	0人	11.4%
80～89歳	1人	6人	20.0%
90歳以上	3人	20人	65.7%
小計	8人	27人	／
合計	35人		
平均年齢	男性	女性	全体
	83.0歳	90.0歳	88.0歳

シヨーストステイいちいの森			
区分	男性	女性	割合
40～69歳	0人	1人	7.1%
70～79歳	2人	2人	28.6%
80～89歳	1人	3人	28.6%
90歳以上	2人	3人	35.7%
小計	5人	9人	／
合計	14人		
平均年齢	男性	女性	全体
	84.0歳	91.0歳	89.0歳

年齢別

シヨーストステイ能舞の里			
区分	男性	女性	割合
要支援1	0人	0人	0.0%
要支援2	0人	0人	0.0%
要介護1	2人	9人	20.8%
要介護2	8人	10人	34.0%
要介護3	8人	3人	20.8%
要介護4	5人	6人	20.8%
要介護5	1人	1人	3.8%
小計	24人	29人	／
合計	53人		
平均介護度			2.5

特別養護老人ホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	0人	0人	0.0%
要介護3	1人	4人	18.5%
要介護4	1人	14人	55.6%
要介護5	3人	4人	25.9%
小計	5人	22人	／
合計	27人		
平均介護度			4.1

シヨーストステイいちいの森			
区分	男性	女性	割合
要支援1	0人	0人	0.0%
要介護1	0人	0人	0.0%
要介護2	0人	1人	50.0%
要介護3	1人	0人	50.0%
要介護4	0人	0人	0.0%
要介護5	0人	0人	0.0%
小計	1人	1人	／
合計	2人		
平均介護度			2.5

要介護度別

シヨーストステイ能舞の里			
区分	男性	女性	割合
東通村	11人	8人	35.8%
むつ市	13人	21人	64.2%
小計	24人	29人	／
合計	53人		

特別養護老人ホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合
東通村	8人	27人	100.0%
小計	8人	27人	／
合計	35人		

シヨーストステイホームいちいの森			
区分	男性	女性	割合
東通村	4人	8人	85.7%
むつ市	1人	1人	14.3%
小計	5人	9人	／
合計	14人		

保険者別

SS能舞の里	
むつ市が全体の64%強、36%弱が東通村の利用者。80～90歳以上が85%弱で、79歳以下が15%強になっている。介護度も1～3が全体の75%強であり、4・5の占める割合は25%弱となっている。	

特養いちいの森	
地域密着型であるため入所者は全て東通村の方である。	2号被保険者が1名、他は半数以上の方が90歳以上で、平均介護度は4.0である。

SSいちいの森	
空床のみのSS。	6月～10月は利用者がなかった。後半は特養で長期入院があったため空床利用に努めた。入所者はほぼ東通村の方である。

まとめ

9. 各事業の行事实施状況

①行事の実施状況

	(特養みろく苑)	デイみろく苑	GH みろく苑	GH みろくの郷
4 月	4/19 創立祭	4/19 創立祭 4/25 お花見ドライブ (城山公園)	4/16 お花見ドライブ 4/19 創立祭	4/14 おやつ作り (クレープ) 4/16 花見ドライブ (町内)
5 月	5/12 母の日	5/5 端午の節句 5/6～5/10 母の日イベント	5/5 端午の節句 5/12 母の日を祝う会 5/29 スポーツデー (旧 田子町チャレンジデー)	5/12 母の日 5/16 BBQ 5/25 ドライブ (町内)
6 月	6/16 父の日	6/5 新緑ドライブ (大黒森) 6/13～16 父の日イベント	6/16 父の日を祝う会	6/16 おやつ作り (かき氷)
7 月	7/7 セタ	7/7 きらきらセタ会 7/25 涼を楽しむ会	7/1 田子小学校相撲大会見学 7/7 セタ会 7/16 夕涼み会	7/8 セタ 7/28 お好み焼きパーティー
8 月	8/5 夏祭り		8/14～15 お盆供養 8/30 GH 夏祭り	8/6 おやつ作り (きんかもち) 8/6 おやつ作り (ホットケーキ) 8/30 夏まつり
9 月	9/18 花火大会 9/19 敬老会	9/12 秋祭り 9/18 敬老会	9/13 敬老会	9/27 敬老会
10 月	10/29 ハロウィンパーティー	10/1 収穫祭 10/28 ハロウィン	10/5 にんにくとべご祭り 10/13 焼き芋会 10/16 紅葉ドライブ 10/27 秋の味覚を味わう会 (サンマ 焼き、新米) 10/31 ハロウィンパーティー	10/16 炭火で焼き芋
11 月	11/8 田子中慰問 11/22 秋の味覚を楽しむ会	11/7 紅葉ドライブ 11/9～10 田子町文化祭見学 11/19 おでんパーティー	11/8 田子中学生慰問 11/9、10 田子町文化祭	11/19 おやつ作り (どら焼き作り)
12 月	12/20 クリスマス会 12/31 年越しを楽しむ会	12/25 クリスマス会 12/31 年越し会	12/24 クリスマス・忘年会	12/11 おやつ作り (あんまん・肉まん) 12/25 クリスマス会
1 月	1/1 新年を祝う会	1/2～3 新年会 1/15 100歳を祝う会	1/4 田子町出初め式見物 1/4 初詣 1/17 春祈禱 1/21 新年会	1/10 新年会 1/17 春祈禱
2 月	2/3 豆まき 2/14 バレンタイン	2/3 節分 2/13 バレンタイン	2/3 節分 2/14 バレンタインデー行事	2/2 節分 2/24 おやつ作り (フルーツケーキ)
3 月	3/20 春を祝う会 3/25 百歳を祝う会	3/3 ひなまつり	3/3 ひな祭り 3/14 ホワイトデー行事	3/7 ひな祭り 3/9 お好み焼きパーティー
その他 随時実施		誕生日会 買い物ドライブ クッキング	誕生会 ドライブ 買い物 クッキング	誕生会

②行事の実施状況

	ひだまり	野辺地ホーム	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野
4 月	4/中旬から随時 お花見散歩	4/22 施設周辺お花見散歩	4/18, 19 お花見ドライブ	4/20 お花見
5 月	5/12 母の日	5/20 誕生茶話会 (レクスポート) ロールケーキ、ココアムース	5/24 開設祭(BBQ)	新型コロナクラスターで行事なし
6 月	6/16 父の日	6/5 誕生茶話会 (ボーリング大会)	6/17 運動会	6/25 夏を先取り夏祭り (施設内)
7 月	7/1 ひだまり創立祭	7/8 誕生茶話会 ・パンケーキづくり (黒蜜、抹茶) 7/31「野辺地ホーム夏祭り」開催 ・アトラクション (ササ踊り保存会の踊り) ・ゲーム大会、花笠音頭披露 ・模擬店 (やきとり、フランク、焼きそば、かき氷、ポテト、くじ引き、射的、金魚すくい他)	7/25 かき氷を味わう会	7/24 鉄板焼き会、かき氷
8 月	8/23 ひだまり夕涼み会	8/26 誕生茶話会 (納涼会) ゲーム、スイカ割、かき氷	8/30 納涼祭	8/29 納涼祭
9 月	9/17 ひだまり敬老会	9/17 誕生茶話会 (敬老会) ・野辺地カトリック幼稚園慰問	9/17 敬老会	9/23 BBQ
10 月	10/16・18 紅葉ドライブ (十和田湖) 10/22 紅葉ドライブ (七戸町) 10/30 紅葉ドライブ (十和田市)	10/10 誕生茶話会 (野辺地町とサークル演奏会) ・モンブラン、栗プリン	10/30 ハロウィンお茶会	10/29 秋の味覚を楽しむ会 (焼き芋)
11 月	11/中に完成 ちぎり絵作成	11/20 誕生茶話会 (まかど喜ばせ隊慰問) ・プリンアラモード、ジュース、お茶	11/6 紅葉ドライブ	11/12 外食ドライブ
12 月	12/25 ひだまりクリスマス会	12/20 誕生茶話会 (クリスマス会) ・合唱、ハンドベル ・プレゼント配布、イチゴチョコケーキ	12/24 クリスマス忘年会	12/19 クリスマス会
1 月	1/9 お正月遊び	1/9 誕生茶話会 (新年会)	1/22 新年会	1/2～4 初詣
2 月	2/3 節分 (豆まき)	2/3 節分 ・豆まき (甘納豆)、レクレーション 2/14 誕生茶話会 ・ショコラブッセ、ココアムース	2/3 節分	2/3 節分
3 月	3/3 ひま祭り (コロナクラスターにて、3/30 に程変更)	3/3 誕生茶話会 (白玉団子づくり) ・ひな祭りの歌ほか合唱 ・お汁粉、甘酒	3/3 ひな祭り	3/3 ひな祭り
その他 随時実施	料理クラブ			

③行事の実施状況

	ゆうなぎの里	しおさい岬	能舞の里
4 月			
5 月	5/14 畑作業（苗植え） 5/15 植樹祭（ユニット別）	5/15 サンドイッチ屋さん 5/24 どら焼き屋さん 5/28 植樹祭	・お花見弁当
6 月	6/5 クッキングクラブ中華まん作り 6/5 ゆうなぎの里植樹祭 6/26 ゆうなぎの里運動会	6/14 たこ焼き屋さん 6/28 おたますくい	・手作りあじさいゼリー 6/25（火）
7 月	7/10 クッキングクラブ パフェ作り	7/17 創立祭&夏祭り	・夏祭り、創立祭 7/23（火） ・七夕昼食会〔流し素麺〕 7/25（木）
8 月		8/10 大間稲荷神社例大祭 8/15 ブチ屋台（フランクフルト屋さん） 8/29 実習生（栄養士）献立提供 8/30 ブチ屋台（クレープ屋さん）	・馬鈴薯、ミニトマト収穫祭 8/2（金） ・大根、人参、万能葱植付 8/2（金） ・土用の丑〈昼食〉 8/7（水） ・お盆〈昼食〉 8/16（金）
9 月	9/18 歌声広場	9/15 実習生交流会 9/16 敬老の日（昼食、紅白まんじゅう） 9/17 歌声広場 9/17 中秋の名月（十五夜まんじゅう、甘酒） 9/22 秋分の日（おはぎ）	・たぬきうどん 9/18（水） ・流し素麺 9/25（水）
10 月	10/9 ゆうなぎの里秋祭り	10/4 生け花教室 10/7 避難訓練 10/16 秋の味覚バイキング 10/3 ハロウィンスイーツバイキング	・秋の収穫祭〈大根、甘藷 他〉 ・敬老会〈昼食〉 10/11（金）
11 月	11/27 ゆうなぎの里敬老会	11/22 敬老会	・こども園ひがしどおり慰問〔舞踊・たわらづみ〕 11/28（火）
12 月	12/4 クッキングクラブ ケーキ作り	12/24 クリスマス会	・クリスマス会〈昼食・おやつ〉 12/20（金） ・年末〈年越しそば〉 12/31（火）
1 月		1/7 人日の節句（七草粥） 1/11 鏡開き（おしるこ） 1/15 小正月（小豆粥）	・小正月〈おせち料理〉 1/15（水）
2 月	2/3 節分レク	2/14 バレンタイン（チョコケーキ） 2 月中 ウィンドチャイム作り	・節分〈昼食・おやつ〉 2/4（火）
3 月	3/18 居酒屋レク	3/14 ホワイトデー（ホワイトミニ） 3/20 春分の日（ばたもち） 3/21 ビンゴ大会 3/24 お刺身バイキング	・ひなまつり〈昼食・おやつバイキング〉 3/5（水）
その他 随時実施	ユニットレク随時（食レク・もの作り・ゲーム大会等）	機能訓練（作品作り）	※随時実施〔各ユニット行事〕 ・誕生会 ・カラオケ ・郷土芸能ビデオ視聴 ・日常軽運動 ・熱帯魚飼育 ・観葉植物鑑賞

④行事の実施状況

	いちいの森	佐井村保育所
4 月		4/1 入所式、4/8 防火パレード、 4/18 歯科検診、4/23 内科検診、 4/25 お花見会、 ※毎月 避 難訓練・消火訓練を実施
5 月		5/19 消防団観閲式、 5/22 赤 十字登録式、 5/29 総合避難訓 練
6 月	6/26 運動会	6/13 保育懇談会、6/27 運動会 総練習、6/29 運動会、6/26 避 難訓練
7 月		7/5 七夕、7/13 社会福祉協議 会夏祭り、7/27、夕涼み会、7/23 プール開き、7/31 避難訓練
8 月	8/28 100 歳お祝い会	8/5 願掛け海遊び、8/15 村夏 祭り踊り参加、8/28 虫歯予防 教室、8/29 避難訓練、8/30 秋 の自然を楽しもう
9 月	9/19 敬老会、こども園ひがし どおり慰問	9/2 虫歯予防教室、9/7 さい荘 夏祭り参加、9/13 お祭りパレ ード、9/27 避難訓練
10 月	10/2 創立祭 10/24 紅葉ドライブ	10/25 内科検診、10/10 歯科検 診、10/17 総合避難訓練、10/20 保育懇談会
11 月	11/12 100 歳お祝い会 11/26 こども園ひがしどおり 慰問	11/16 発表会、11/27 ゆうなぎ の里敬老会慰問、11/28 避難 訓練
12 月	12/25 クリスマス会	12/6 中 3 保育実習、12/20 避 難訓練、12/24 クリスマス会
1 月		1/9 新年子ども会、1/30 こま 回し大会、1/31 避難訓練
2 月	2/3 節分レクリエーション 2/15 バレンタイン茶話会	2/1 冬の親子の集い、2/3 豆ま き会、2/13 記念撮影会、2/27 避難訓練
3 月	3/4 ひな祭り茶話会	3/3 ひな祭り、3/8 修了式、3/26 避難訓練、3/27 お別れ会
その他 随時実施	誕生会（毎月） 最終金曜日開催	

⑤行事食の状況 ※一部抜粋

特養みろく苑	デイみろく苑	GH みろく苑
4/創立祭 ほたての炊き込みご飯、天麩羅、焼き物、炊き合わせ、和え物、茶碗蒸し、すまし汁	4/20（水） 創立祭 ホタテの炊き込みご飯、天ぷら、茶碗蒸し、焼き物、炊き合わせ、 和え物（なます・ポテトサラダ）、すまし汁	4/19 創立祭 赤飯、すまし汁、天ぷら、煮しめ、鶏肉の八幡巻き、ナス田楽、 茶碗蒸し、大根なます、フルーツ（オレンジ、イチゴ）
		5/5 端午の節句 ご飯、味噌汁、おさかなオムレツ、ブロッコリーの酢味噌がけ、 シューアイス
7/7 七夕 わかめおにぎり、七夕そうめん、星のハンバーグ、七夕ゼリー 果物(オレンジ)	7/7（木） 七夕 わかめおにぎり、七夕そうめん、星のハンバーグ、七夕ゼリー	7/7 七夕 七夕そうめん、星のハンバーグ、冬瓜のえびあんかけ、 青りんごゼリー
7/24 土用の丑の日 うなぎ丼、大根と竹輪の煮物、きゅうりと若布の酢の物、酢の物 果物(すいか)	7/24（水） 土用の丑の日 うなぎ丼、大根とちくわの煮物、きゅうりとわかめの酢もの、 あさりと三つ葉の味噌汁	7/24 土用の丑の日 うなぎ、すまし汁、冬瓜のえびあんかけ、青りんごゼリー
8/14 お盆 赤飯、煮しめ、玉子豆腐、紅白なます、味噌汁 饅頭	8/15（木） お盆 赤飯、すまし汁、煮しめ、卵豆腐、紅白なます	8/14 お盆 赤飯、すまし汁、天ぷら、煮しめ、ところてん
9/18 敬老会 太巻きといなり寿司、焼き物、揚げ物、煮物、和え物、いくら、 果物(オレンジ)、すまし汁、紅白饅頭	9/16（水） 敬老会 太巻きといなり寿司、焼き物、揚げ物、煮物、和え物、茶碗蒸し、いくら、果実、すまし汁	9/18 敬老会 赤飯、すまし汁、天ぷら、厚焼き玉子、金目鯛の西京焼き、 鶏肉の八幡焼き、筑前煮、茶碗蒸し、大根と柚の甘酢和え
12/20 クリスマス、忘年会 ちらし寿司、赤魚の煮付け、茶碗蒸し、果物(いちご)、すまし汁	12/25（水） クリスマス会 ピラフ、若鶏のごま照焼、ポテトサラダ、 国産ゆず大根甘酢和え、もずくスープ	12/25 クリスマス えびピラフ、コンソメスープ、星のクロッケ、スパゲティサラダ、 フルーツポンチ
12/31 年越し 炊き込みご飯、金目鯛の煮付け、長芋のゆかり和え、しば漬け 年越しそば		12/31 年越し ちらし寿司、年越しそば、天ぷら、金目鯛の西京焼き、煮しめ、 茶碗蒸し、彩り大根なます
1/1 正月(元旦：朝) ご飯、おせち三点盛り、紅白なます、黒豆、味噌汁 1/1 正月(元旦：昼) 赤飯、天麩羅、銚子高野の煮物、菜の花の辛し和え、 いちご煮		1/1 正月 赤飯、すまし汁、鶏肉の八幡巻き、伊達巻、 黒豆、いもあん、 舞鶴かまぼこ、きゅうり漬け
2/2 節分 太巻きといなり寿司、白身魚フライ、煮物、和え物、すまし汁 節分和菓子	2/3（月） 節分 太巻きといなり寿司、白身魚フライ、煮込み豆腐、菜の花の辛し和え、すまし汁（あさり・三つ葉）	2/2 節分 エッグロール、いなり寿司、すまし汁、いわしの生姜煮、 ストロベリーゼリー
3/3 ひな祭り ちらし寿司、鮭チーズフライ、菜の花の辛し和え、すまし汁、 ひなあられ	3/3（月） ちらし寿司、鮭のチーズフライ、菜の花の辛し和え、すまし汁（あさり・大葉）	3/3 ひな祭り ちらし寿司、すまし汁、うす味花型ハンバーグ、うどの酢の物

⑥行事食の状況 ※一部抜粋

GH みろくの郷	ひだまり	野辺地ホーム
	4/30 お花見 ちらし寿司、すまし汁、八幡巻き、2 色焼 売、野菜と油揚げのお浸し	4/22 お花見 さくらご飯、エビフライ、ミニハンバーグ、 卵焼き、花形豆腐、煮豆、イチゴ
5/5 端午の節句 米飯、みそ汁（浅つきと豆腐）、お魚オムレ ツ、ブロッコリーの味噌がけ、シュールアイ ス	5/5 こどもの日 チキンライス、スープ、兜型ハンバーグ、 小松菜ときのこのソテー、マカロニサラダ、 季節の和菓子（練り切り）	5/5 端午の節句 オムライス、グリーンサラダ、フルーツカ クテル
		6/5 選択メニュー おにぎり o r サンドイッチ、ポトフ、カリ フラワーのマリネ、マカロニナポリタン
7/7 七夕 七夕そうめん、星のハンバーグ、しめじと 生揚げの煮物、プリン 7/24 土用の丑の日 うな井、すまし汁（オクラとはんぺん）、冬 瓜のえびあんかけ、青りんごゼリー	7/1 創立祭 栗赤飯、すまし汁、茶碗蒸し、天ぷら盛合 せ、赤魚西京焼き、玉子焼き、エビサンド、 彩りなます、金時豆、フルーツ、季節の和 菓子（練り切り） 7/24 土用丑の日 うなぎの蒲焼丼、すまし汁、春雨の酢の物、 デザート	7/8 七夕 鮭ご飯、そうめん汁、星のコロッケ、かぼ ちゃサラダ、羊羹 7/24 土用の丑の日 うな井、トマトのさとうがけ、青梅ゼリー
8/14 お盆 赤飯、すまし汁、天ぷら、煮しめ、なます		8/13 お盆 赤飯、煮しめ、茶わん蒸し、ようかん
9/16 敬老会 赤飯、すまし汁、天ぷら盛り合わせ、金目 鯛西京焼き、筑前煮、鶏肉の八幡巻き、茶 碗蒸し、大根とゆずの甘酢和え	9/17 敬老会 赤飯、すまし汁、天ぷら盛合せ、なます、 エビサンド、厚焼き玉子、一口昆布、薄紅 花咲包み蒸し、錦糸卵のえびしんじょう、 高野豆腐と蒟の煮物、茶碗蒸し、黒ゴマ団 子、デザート（紅白ゼリー）	9/17 敬老会 栗ご飯、天ぷら（えび、舞茸、サツマイモ）、 カニ風味高野豆腐、寿玉子、木の葉豆腐、 白いんげん豆、練り切り
		10/31 ハロウィン ご飯、カボチャシチュー、野菜サラダ、洋 ナシ缶
		11/25 和食の日 わかめごはん、サンマの塩焼き、大根の酢 の物、すまし汁
12/25 クリスマス カニピラフ、コンソメスープ、鳥から揚げ、 スパゲッティサラダ、フルーツポンチ	12/25 クリスマス会 チキンライス、コーンクリームスープ、星 型ハンバーグ、海老フライ、鶏のもも照焼 き、ペペロンチーノ風、ポテトサラダ、五 目しんじょう、果物、クリスマスケーキ	12/25 クリスマス カニピラフ、もみの木ハンバーグ、ポテト サラダ、チョコムース
12/31 年越し ちらし寿司、年越しそば、天ぷら、金目鯛 西京焼き、煮しめ、茶碗蒸し、彩りなます	12/31 大晦日 年越しそば、いなり寿司、天ぷら盛合せ、 出し巻玉子、酢の物、茶碗蒸し	12/31 年越し ご飯、年越しそば、煮しめ、ひじきの白和 え、ふんわりみたらしムース
1/1 正月（おせち風） 赤飯、すまし汁、鶏肉の八幡巻き、黒豆、 いもあん、舞鶴かまぼこ、きゅうりの漬物	1/1 お正月 太巻寿司、お雑煮、伊達巻、黒豆煮、蒲鉾 （鶴亀・初日の出）、 一口昆布、なます、八幡巻き、デザート（紅 白ゼリー）	1/1 正月 赤飯、鯛の煮付け、信田煮、伊達巻、すま し汁

2/3 節分 いなり寿司、すまし汁、いわしの生姜煮、 ストロベリーゼリー	2/2 節分 恵方巻、つみれ汁、いわしの梅しそフライ、 昆布豆煮、根菜サラダ、 豆しとぎ	2/3 節分 恵方巻、イワシの梅煮、きな粉プリン
3/3 ひな祭り ちらし寿司、すまし汁、うす味花型ハンバ ーグ、うどの酢の物	3/3 ひなまつり ちらし寿司、すまし汁、鶏そぼろ信田、2 色 焼売、桜えびとオクラのお浸し、うぐいす 豆、桜色ロールケーキ (2 種)	3/3 ひな祭り ちらし寿司、卵豆腐、ひじきと枝豆の白和 え、すまし汁

⑦行事食の状況 ※一部抜粋

ラ・メール白山台	ラ・メール小中野	ゆうなぎの里
4/29 お花見 五目ちらし寿し すまし汁 海老団子の煮物 白桃デザート ジョア	4/29 お花見 五目ちらし寿し すまし汁 海老団子の煮物 白桃デザート ジョア	
5/5 子供の日 えびピラフ チーズハンバーグ 春雨スープ 豆腐サラダ 牛乳 5/24 開設記念行事 ご飯 豚汁 バーベキュー 飲み物 5/25 開設記念日 赤飯、すまし汁、天ぷら、茶碗蒸し、蒟と筍の胡麻和え、牛乳	5/5 子供の日 えびピラフ チーズハンバーグ 春雨スープ 豆腐サラダ 牛乳 5/24 開設記念行事 ご飯 豚汁 バーベキュー 飲み物 5/25 開設記念日 赤飯、すまし汁、天ぷら、茶碗蒸し、蒟と筍の胡麻和え、牛乳	
7/7 七夕 五目ちらし寿司 すまし汁 いか団子と冬瓜の煮物 牛乳	7/7 七夕 五目ちらし寿司 すまし汁 いか団子と冬瓜の煮物 牛乳	
7/24 土用の丑の日 うなぎの蒲焼丼 すまし汁 ところてん ごぼうサラダ 牛乳	7/24 土用の丑の日 うなぎの蒲焼丼 すまし汁 ところてん ごぼうサラダ 牛乳	
8/14 お盆 赤飯 すまし汁 天ぷら 煮しめ ヨーグルト	8/14 お盆 赤飯 すまし汁 天ぷら 煮しめ ヨーグルト	8/13 お盆 おこわ、八杯汁、天ぷら、ささげの油いため、かぼちゃの煮物、酢の物、ところてん、煮しめ おやつー白玉
9/16 敬老の日 赤飯 すまし汁 天ぷら 茶碗蒸し 紅白なます レモンヨーグルト 11/15 七五三 五目ちらし寿司 みそ汁 里芋の煮物 ヨーグルト	9/16 敬老の日 赤飯 すまし汁 天ぷら 茶碗蒸し 紅白なます レモンヨーグルト 11/15 七五三 五目ちらし寿司 みそ汁 里芋の煮物 ヨーグルト	9/27 敬老会 炊き込みご飯、そうめん、茶わん蒸し(具なし)、天ぷら、豚の角煮、焼き鮭、まぐろのたたき、甘えび、酢の物、ふわふわだんご、果物、ケーキ おやつープリン
12/24 クリスマス えびピラフ クリームシチュー 十品目の和サラダ、クリスマス三色デザート、ヨーグルト	12/24 クリスマス えびピラフ クリームシチュー 十品目の和サラダ、クリスマス三色デザート、ヨーグルト	12/25 クリスマス ピラフ、ビーフシチュー、グラタン、かに風味サラダ、フルーツ
12/31 年越 ご飯 年越しそば 天ぷら盛り合わせ 赤かぶ漬け	12/31 年越 ご飯 年越しそば 天ぷら盛り合わせ 赤かぶ漬け	12/31 大晦日 天ぷら、茶わん蒸し、鮭の塩焼き、酢の物、ご飯、すまし汁
1/1 お正月 赤飯 彩り紅白なます お雑煮風 くりきんとん 煮しめ 新春デザート	1/1 お正月 赤飯 彩り紅白なます お雑煮風 くりきんとん 煮しめ 新春デザート	1/1 お正月 おこわ、八杯汁、おせち
2/3 節分 五目ちらし寿し 菜の花の辛し和え すまし汁 ジョア	2/3 節分 五目ちらし寿し 菜の花の辛し和え すまし汁 ジョア	
3/3 ひな祭り 五目ちらし寿し 白桃デザート すまし汁 茶碗蒸し ジョア おやつ) ひなあられ 甘酒	3/3 ひな祭り 五目ちらし寿し 白桃デザート すまし汁 茶碗蒸し ジョア おやつ) ひなあられ 甘酒	3/5 ひな祭り ちらし寿司、そうめん、菜の花の梅おかか 和え、果物 おやつーおやつパイキング

⑧行事食の状況 ※一部抜粋

しおさい岬	能舞の里	いちいの森
4/17 春のピクニック風メニュー 五目いなり寿司、すまし汁、唐揚げ、卵ロール、フルーツ		
		5/5 こどもの日 鮭のちらし寿司、すまし汁、菜の花のお浸し、練り切り（真鯉・緋鯉）
	6/25 手作りおやつ・あじさいゼリー	6/26 運動会（弁当） サンドイッチ（イチゴ・ポテトサラダ・玉子）、エビフライ、ブロッコリー・トマト、ウインナー、さつまいもスティック、ゼリー
7/7 セタ 昼食：セタそうめん、稲荷寿司、オクラとカニカマの和え物、フルーツみつ豆 おやつ：星くずまんじゅう、甘酒 7/17 夏祭り・創立祭 昼食：焼きそば、海苔巻、けの汁、タコ焼き、ポテト、焼鳥、アメリカンドック、枝豆、トマト、チョコバナナ おやつ：アイスクリーム 7/24 土用の丑の日 うなちらし、しじみのみそ汁、茶わん蒸し、大根ときゅうりの梅和え フルーツ	7/23 夏祭り・創立祭 昼食・バイキング・焼きそば・三色おにぎり・フランクフルト・たこ焼き・さつまステック・唐揚げ・きゅうり1本付け おやつ・アイス〔きなこ、黒密、チョコ、キャラメル〕 7/25 セタ 昼食・セタそうめん・お楽しみ天ぷら（ズッキーニ・なす・ピーマン）・オクラのおろし和え・ジョア・手作りセタようかん	7/8 セタ セタそうめん、和風竜田揚げ、卵豆腐、セタゼリー 7/24 土用の丑の日 うな井、八杯汁、ほうれん草お浸し、黒豆、スイカ
8/13 お盆 昼食：いなり寿司、海苔巻き、そうめんのすまし汁、天ぷら、煮しめ、フルーツ おやつ：おはぎ 夕食：小豆のおこわ、みそ汁、千草蒸し、かぼちゃの煮物、漬け物	8/7 土用の丑の日 昼食・うな井・そうめん汁・大根サラダ・野菜ジュース・いちごのレアチーズケーキ 8/16 お盆 昼食・赤飯・すまし汁・天ぷら盛合わせ（えび・かぼちゃ・なす・ピーマン）・彩りなます おやつ・りんご水まんじゅう・メロンゼリー・ジョア・ロールケーキ・チョコレートムース	8/14 お盆 赤飯、澄まし汁、煮しめ、揚げ茄子煮浸し、ゴールドキウイ
9/9 重陽の節句 おやつ：栗の蒸しパン 夕食：栗御飯、みそ汁、カレイの煮付け、秋ナスの揚げびたし、菊の酢の物	9/25 流しそうめん ・流しそうめん・きゅうりのツナ和え・ヨーグルト	9/19 敬老会 寿司三貫（マグロ・サーモン・えび）、天ぷら（えび・南瓜・舞茸）、高野豆腐の煮物、さつま芋の甘煮、大根なます、黒豆、ぶどう、ゼリー、和菓子
	10/11 敬老会 昼食・五目御飯・お吸い物・えびの天ぷら・小松菜のおひたし・茶わん蒸し・ミルージュ おやつ・三種のプチケーキ・プリン	10/2 創立祭 栗ご飯、すまし汁、銀鱈の西京焼き、炊き合わせ、昆布巻き、梨
12/21 冬至 昼食：けんちんうどん、薩摩芋天ぷら、温泉卵、ゆずゼリー おやつ：おはぎ		

12/24 クリスマス (バイキング) 昼食：ごはん、全粥、エビピラフ、ピザ、カレー、みそ汁、クラムチャウダー、フライドチキン、エビフライ、カニ甲羅グラタン、星型ハンバーグ、鮭のちゃんちゃん焼、ウィンナー、ポテト、オニオンリング、テリース、ピンチョス、チーたらカマンベール、シーザーサラダ、フルーツ盛	12/20 クリスマス 昼食・ハヤシライス ・コーンスープ ・クリスマスチャウダー ・野菜サラダ ・カニ甲羅グラタン蟹・飲む野菜と果実ジュース おやつ・選択おやつ [一つ]	12/25 クリスマスバイキング カニピラフ、卵粥、コーンスープ、エビフライ、クリームコロッケ、照り焼きチキン、肉団子、ポテトサラダ、一口焼き芋、フルーツボンチ、ブルーチェ
12/31 年越し 昼食：握りすし、お吸い物、ミニオードブル、茶わん蒸し、フルーツ おやつ：餅ムース (あずき) 夕食：年越しそば、天ぷら、温泉卵	12/31 年越し 昼食・年越しそば ・海老天 ・とろろ芋 ・富士山ゼリー ・練り切り〔和菓子〕 おやつ・ショコラブッセ	12/31 年越し 年越しそば (エビ天)、手作り卵豆腐、さつま芋甘煮、ほうれん草お浸し
1/1 正月 昼食：海鮮丼、お雑煮、おせち盛り合わせ①、フルーツ おやつ：干支まんじゅう、甘酒 夕食：稲荷寿司、そうめん (温)、おせち盛り合わせ②	1/15 お正月 昼食・赤飯・タラ汁風・三点盛合わせ (昆布巻・栗きんとん・黒豆)・寿玉子焼き・寿高野豆腐煮 おやつ・フルーツ (みかん)	1/1 正月 赤飯、すまし汁、赤魚塩焼き、煮しめ、黒豆、大根なます、昆布巻き、 栗きんとん、紅白ゼリー、練り切り 1/7 七草の日 七草粥、みそ汁、筑前煮、白菜のお浸し、ヨーグルト
2/3 節分 のり巻き、そば、いわしの梅煮、五目煮、フルーツ	2/4 節分 昼食・さつまいもごはん・せんべい汁・いわしの三平煮・卵の花・ピクルス・節分プリン・蒸しケーキ	2/3 節分 いなり寿司、けんちん汁、いわし生姜煮、五目煮、イチゴ、練り切り (赤鬼・青鬼)
3/3 ひなまつり 昼食：ちらしずし、お吸い物 (はまぐり)、天ぷら、菜の花のおひたし、茶わん蒸し おやつ：ひなまつりケーキ、甘酒	3/5 ひなまつり 昼食・五目ちらし寿司・八杯汁・ぶりの煮付・茶碗蒸し (栗)・ひな祭りゼリー ひなまつりバイキング ・三種の練り切り・いちごムースケーキ・ひなあられ・三色ゼリー・甘酒	3/4 ひな祭り 雛ちらし、すまし汁、菜の花のお浸し、イチゴ、ひなあられ、三食ゼリー、甘酒

10. 各事業の研修実施状況

①内部研修の実施状況

	特養みろく苑	デイみろく苑	GH みろく苑
4 月	- 令和 7 年度の基本方針について（事業計画） 4/24 - 感染症対策について 4/19	- 令和 7 年度の基本方針について（4/5） - ケアプラン作成について（4/12）	- 理念及び令和 7 年度の基本方針について 4/24 - 非常災害時の対応について 4/24
5 月	感染症対策について 5/22	- 接遇について（5/10） - 認知症について（5/10）	福祉現場における倫理及び法令遵守 5/22
6 月	感染症対策について PPE の付け方・脱ぎ方・手指消毒について 6/19	権利擁護について（6/19）	高齢者虐待防止の理解と職員の役割 6/19
7 月	- 身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて 7/24 - 生産性向上モデル事業実践報告 7/24	- 法令遵守について（7/4） - 感染症について（7/24）	救命救急について 7/24
8 月	- おむつ講習会 8/8、8/14、8/29 - 歯科口腔研修 8/9 - 職場のハラスメントについて 8/21	- 安全運転講習会（8/1） - 個人情報保護について（8/21）	身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて 8/21
9 月	- おむつ講習会 9/5、9/9、9/11、9/19 - 感染症対策について 9/25	緊急時の対応について（9/25）	リスクマネジメントの考え方について 9/25
10 月	- おむつ講習会 10/15 - トランスファーボード、スライディングシート、体位交換シートについて 10/23	身体拘束・高齢者虐待（10/23）	介護現場におけるプライバシー保護について 10/23
11 月	喀痰吸引研修 11/19～	介護事故について（11/20）	10 の研修テーマについて（伝達研修） 11/20
12 月	喀痰吸引研修～1/14 まで	業務継続計画について（12/18）	介護用具について（スライディングボード） 12/18
1 月	介護サービスにおける接遇とコミュニケーション 1/22	認知症について（1/22）	認知症介護実践者基礎研修について（伝達研修） 1/21
2 月	「介護現場におけるプライバシー保護」 「福祉現場における倫理及び法令遵守」 「認知症の理解とケアのあり方について」 「身体拘束の理解と排除に向けた取り組み」 「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」 2/18	非常災害対応と計画について（2/19）	介護サービスにおける接遇とコミュニケーション 2/19
3 月	来年度基本方針について（次年度事業計画） 3/19	来年度基本方針について（3/19）	- 医療について 3/19 - 来年度基本方針について 3/19

②内部研修の実施状況

	GH みろくの郷	ひだまり	野辺地ホーム
4 月	- 令和7年度の基本方針について（事業計画）4/22 - 身体拘束廃止委員会 4/25	サービス提供基本理念について 4/25	4/24 職員全体研修 - 介護職員処遇改善計画の説明と周知 「高齢者虐待防止について」（動画視聴）
5 月	- 感染症及び食中毒の予防と蔓延防止について 5/21 - 看取り介護の理念と理解 5/21	- 職員の質向上について 5/29 - 救命救急について 5/29	5/31 職員全体研修 - 事故防止委員会からの事故検証報告 - 講演「私たちができる食支援のために」 講師 青森慈恵会病院摂食嚥下障害認定看護師 丹藤 淳氏
6 月	高齢者虐待防止の理解と職員の役割 6/19	身体拘束について 6/26	6/25 - 虐待、身体拘束廃止委員会、対応状況報告 - 講演「高齢者の特性を知り感染拡大リスクを最小限に抑制するために」 講師 公立野辺地病院感染管理認定看護師 工藤一美氏
7 月	- 救命救急について 7/22 - 身体拘束廃止委員会 7/22	- 育児・介護休業規定について 7/24 - 終末期医療・ターミナルケアについて 7/24	7/11 職員全体研修 消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）
8 月	介護現場におけるプライバシー保護について 8/19	- ハラスメント防止について 8/27 - 介護におけるプライバシー保護について 8/27	8/23 職員全体研修 ノーリフトケア研修
9 月	福祉現場における倫理及び法令遵守 9/19	- 個人情報の取り扱いについて 9/26 - 褥瘡予防のシーツ交換について 9/26	9/25 職員全体研修 「介護施設のコンプライアンスについて」（動画視聴） - 身体拘束防止委員会報告について
10 月	- リスクマネジメントの考え方について 10/16 - 身体拘束廃止委員会 10/16	リスクマネジメントについて 10/24	10/30 職員全体研修 - 防災、総合訓練（通報、避難、消火訓練） - 業務改善計画検証訓練実施（炊き出し訓練ほか）
11 月	接遇とコミュニケーションについて 11/18	- 接遇について 11/27 - 腰痛予防について 11/27	11/27 職員全体研修 「青森県感染症対策特別研修報告」報告者 看護師 四戸知佳子 「職場のハラスメント・カスタマーハラスメント研修」報告者 近藤 仁美
12 月	ノロウイルスについて 12/16	- 労働・安全管理について 12/26 - 感染症対策について 12/26	
1 月	- インフルエンザについて 1/28 - 身体拘束廃止委員会 1/28	認知症について 1/28	
2 月	新型コロナ感染症対策について 2/17	医療と介護の連携について 2/26	2/26 職員全体研修 「司会悪化による事故防止」（交通安全動画視聴）
3 月	夜間急変時の対応 3/18	非常災害計画策定について 3/27	3/27 「新型コロナ感染症完成発生シミュレーション」机上訓練実施

③内部研修の実施状況

	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野	居宅（みろくの郷）
4 月	・事業計画・BCPについて 4/17	・事業計画について 4/19 ・身体拘束について	
5 月	・地域包括ケアシステムについて 5/24	※新型コロナクラスターで中止	
6 月	・休業規程とハラスメント対策について 6/20	・権利擁護、虐待防止について 6/21	「拒否・依存・攻撃・・・その時どうする？精神科医からのアドバイス」
7 月	・消防計画に関する知識と訓練 7/17	・感染症予防について 7/21	設内研修「口腔ケアの実際」
8 月	・職員口腔ケア技術支援研修 ～歯科衛生士による口腔健康 管理指導～8/20	※新型コロナクラスターで中止	・令和7年度 ゲートキーパー育 成研修 ・法人内研修（ケアマネ部会）「適 切なケアマネジメント手法」につ いて
9 月	・医療ケア～糖尿病について 9/18	・虐待防止について 9/20 ・排泄ケアについて	主任介護支援専門員スキルアッ プ研修「みんなで考えよう！課題 分析標準項目を実践するために」
10 月	・感染症、食中毒の予防と蔓延防 止について 10/22	・感染症予防について 10/21	令和7年度青森県介護支援専門員 及び介護サービス提供者合同研 修（アセスメントとモニタリング は多職種協働で！）
11 月	・リスクマネジメントについて 11/20	・職員口腔ケア技術支援研修 ～歯科衛生士による口腔健 康管理指導～11/22	令和7年度 認知症キャラバンメ イトフォローアップ研修
12 月	・高齢者虐待防止の理解と職員の 役割 12/23	・身体拘束について 12/20	令和6年度 青森県介護支援専門 員スキルアップ研修
1 月	・身体拘束の排除について 1/22	・感染症について 1/21	八戸地域保健医療圏域における 病院とケアマネジャーの入退院 の調整ルールの手引き改定に係 る説明会
2 月	・栄養ケアについて 2/25 ・感染症対策、リスクマネジメン トフォローアップ 2/25	・認知症ケアについて 2/21	令和7年度 住宅改修・福祉用具 アドバイザー事業研修会
3 月	・集団リハビリの考え方 3/19 ・身体拘束、高齢者虐待防止フォ ローアップ研修 3/19	・来年度事業計画について 3/21	社会福祉法人吉幸会 法人内研 修（ケアマネ部会）「適切なケアマ ネジメント手法」について

④内部研修の実施状況

	ゆうなぎの里	しおさい岬	能舞の里
4 月	・ 令和 7 年度事業計画書について 4/24	4/25 ・ 令和 6 年度事業計画報告 ・ 令和 7 年度事業計画書について ・ 介護職員等処遇改善加算等 処 遇改善計画書	①職員資質向上のための研修 ⑦倫理及び法令遵守に関する研修 ⑩接遇とコミュニケーションに関 する研修 ⑰ハラスメントに関する研修 ⑱法人理念及びサービス提供方針 に関する研修
5 月	・ 虐待防止について、指針説明 5/22	5/23 ・ 入所者のプライバシーに関する 理解と共有	②就業規則、運営管理規程に関す る職員研修
6 月	・ プライバシー保護について 6/27	6/27 ・ 認知症の理解と対応 ・ 食中毒などについて	②介護技術向上に関する研修〈ユ ニチャームお尻洗浄合同研修〉
7 月	・ 口腔衛生管理体制について 7/24 「口腔ケアの必要性」(講師 佐 井歯科)	7/25 ・ 高齢者の人権擁護・権利擁護 について(不適切なケアを考え る)	⑫消防計画に関する周知・訓練と 研修 ⑬非常災害対策に関する周知と徹 底 ⑭業務継続計画に関する研修
8 月	・ 育児休業、介護休暇取得につい て 8/29 ・ ハラスメントについて 8/29 ・ タイムレコーダー導入に関す る注意事項 8/29	8/22 ・ 「介護職の倫理と基本原則につ いて」 ・ 「介護職として必要なコミュニ ケーションの基本を理解しよ う」～記録の目的と書き方ポイ ント～ ・ AED の操作確認について	⑨感染症、食中毒の予防及び蔓延 の防止、衛生教育研修〔1 回目〕 ⑲医療的ケアに関する研修
9 月	・ 感染予防について、ガウンテク ニック (感染委員会から) 9/25	9/26 ・ 高齢者虐待防止に関すること ・ BCP (事業継続計画) について	②認知症及び認知症ケアに関する 研修 ⑤終末期医療とターミナルケア・ 精神的ケアに関する研修 ⑪高齢者虐待防止に関する研修〔1 回目〕
10 月	・ BCP (業務継続計画) について 10/23	10/24 ・ 身体拘束等の排除について	⑮褥瘡予防のための研修 ⑯喀痰 吸引に関する研修 ・ 口腔ケア研修
11 月	・ ACP について 11/27 ・ 窒息時の対応について 11/27	11/28 ・ 事故の発生と再発防止について ～移乗時の注意点など～	⑧事故の発生又はその再発の防 止、発生等緊急時の対応に関す る研修〔1 回目〕 ②⑤処遇改善加算に関する職員研修
12 月	・ コロナ感染症対策について (感染委員会から) 12/27	12/26 ・ 感染症の対応について	入所者のプライバシー保護に関す る研修 ⑨感染症、食中毒の予防及び蔓延 の防止、衛生教育研修〔2 回目〕 ②④⑤育児休業、介護休業規程に関 する職員研修

1 月	・施設内事例発表 1/22 ・虐待防止について 1/22	1/30 ・職場内ハラスメント防止について ※コロナ感染により資料配布にて全体周知とする	③個人情報保護研修 ④身体拘束等の排除に関する研修〔1 回目〕 ②介護技術向上に関する研修
2 月	・口腔衛生状況について 2/26 (講師 佐井歯科)	2/27 ・交通安全に関すること ・褥瘡の予防と対応策	③ 身体拘束等の排除に関する研修〔2 回目〕 ⑧ 事故の発生又はその再発の防止、発生等緊急時の対応に関する研修〔2 回目〕 ⑪高齢者虐待防止に関する研修〔2 回目〕
3 月	・施設内事故報告 3/25 ・施設内事例発表 3/25	3/27 ・吸引器の準備と片付け方など ・高齢者虐待防止マニュアルについて ・BCP（机上訓練）について	②救命救急及び緊急時対応に関する研修

⑤ 内部研修の実施状況

	いちいの森	保育所
4 月		保育所運営・保育理念・保育方針について（職員会議） ハラスメントについて(4/25)
5 月		給食指導について(5/10)
6 月	6/1 新人職員採用時研修（1名） 6/10 新人職員採用時研修（1名） 6/13・6/24 陰部洗浄（講師：ユニ・チャーム）	
7 月	7/10 新人職員採用時研修（1名） 7/19・7/23 ポジショニング（褥瘡予防）	楽しいプールあそびについて (7/5)
8 月	8/1 新人職員採用時研修（1名） 8/20・23 事故防止・ヒアリハットについて	乳幼児の救命処置(8/8)
9 月	9/1 新人職員採用時研修（1名） 6/11 新人職員採用時研修（1名） 9/14 ポジショニング（臥床時） 9/27 ポジショニング（ベッド上での食事摂取）	不審者訓練について(9/4) 虐待防止について(9/11)
10 月	10/10 ポジショニング(ベッド上での食事摂取)	バスの安全について(10/16) ミニマナー講座(10/17)
11 月	11/8・29 介護用語と感染予防	
12 月	12/17 感染予防	感染症対策研修(12/17)
1 月	1/15 虐待防止と身体拘束	
2 月	2/19・21 緊急時の対応・利用者本位の支援について	
3 月	3/31 次年度事業計画	年度末反省・新年度に向けて (3/12)

⑥外部研修の受講状況

	特養みろく苑	デイサービスみろく苑	GH みろく苑
4 月			・ 田子町集団指導 4/8
5 月	・ 働く高齢労働者の安全と観光確保 5/17		
6 月	・ 年金委員会全体研修 6/25 ・ 安全運転管理者講習 6/25 ・ R7 年度 喀痰吸引研修 7/2		
7 月	・ R7 年度 喀痰吸引研修 7/2 ・ 青森県生産性向上モデル事業 実績報告会 7/3 ・ 時間外労働の上制限への対応と留意点について 7/17 ・ 社会福祉施設における労働災害防止対策 7/10 ・ 青森県生産性向上モデル事業 実績報告会 7/3 ・ 吉幸会職種別研修「給食部会」7/12 ・ 吉幸会「グローイングステージ研修」7/17	・ 法人研修：ケアマネ部会	・ 吉幸会「グローイングステージ研修」7/17
8 月	・ 業務改善に係る実績報告とディスカッション 8/28 ・ 喀痰吸引研修 8/24. 8/25 ・ 吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」8/23 ・ 八戸地区介護保険事業者協会研修会 「高齢者保健福祉施策の現状と課題」8/27		・ 吉幸会「ケアマネ部会」研修 8/23 ・ 八戸地区介護保険事業者協会研修会 8/27 ・ 新しい視点で観察力を磨こう！8/29
9 月	○10 の研修テーマ A コース 9/27 ・ 「感染症、食中毒の予防及び蔓延の防止について」 ・ 「リスクマネジメントの考え方について」	・ 認知症実践者研修 ・ 法人研修：インストラクタステージ研修	・ 「10 の研修テーマ」A コース 9/27 ・ 青森県認知症介護実践研修 9/19 ・ 吉幸会「スキルアップ研修」9/24 ・ あおもりノーリフティングケア研修 9/25
10 月	○10 の研修テーマ B コース 10/4 ・ 「介護現場におけるプライバシー保護」 ・ 「福祉現場における倫理及び法令遵守」 ・ 「認知症の理解とケアのあり方について」 ・ 「身体拘束の理解と排除に向けた取り組み」 ・ 「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」 ○10 の研修テーマ C コース 10/9 ・ 「介護サービスにおける接遇とコミュニケーション」 ○10 の研修テーマ D コース 10/25 ・ 「高齢者虐待防止の理解と職員の役割」 ・ 「ターミナルケアへの取り組みと精神的ケアについて」 ・ 職員交換研修 10/15～19	・ 10 のテーマ研修 (B コース) ・ 10 のテーマ研修 (C コース) ・ メンター研修	・ 「10 の研修テーマ」B コース 10/4

11 月	・マイナ保険証・在職者の年金受給等について 11/12 ・ハラスメントの理解と対策 12/30		・「10 の研修テーマ」C コース 10/9 ・「10 の研修テーマ」D コース 10/25 ・KAI-GO！！セミナー11/15 ・吉幸会「アクションステージ研修」11/26
12 月	・パワーハラスメント対策及びフリーランス 12/19 ・事業者間取引適正化等法 12/19 - 介護支援専門員対面研修 12/20	・入浴介助加算研修	
1 月	・認知症介護基礎研修 1/17. 1/18 ・介護職員の口腔ケアに対する知識・技術の習得、口腔衛生管理体制の研修会 1/23 ・改正育児、介護休業法等及び同一労働同一賃金に係るオンライン説明会 1/24 ・健康保険委員・年金委員地区別研修会 1/29		
2 月	・介護支援専門員 対面研修 2/28 ・八戸地域防災協会三戸部会総会 2/21 ・健康保険委員 Web セミナー2/17		・グループホーム協議会「コンプライアンス・虐待防止セミナー」2/20
3 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」3/19		・吉幸会「第2回ケアマネ部会」研修 3/19

⑦外部研修の受講状況

	GH みろくの郷	ひだまり	野辺地ホーム
4 月			4/26 ・新任相談員研修 受講者 山田恵
5 月		・老人福祉施設新任職員研修 5/24	
6 月		・短期専門講習「接遇マナー」 6/3	6/22・23 介護福祉士実習指導者講習会 受講者 田中政明
7 月	吉幸会研修：グローイングステージ研修 7/17	・医療的ケア履修者演習前講座 7/2 ・相談・調整役に求められる対人スキル 7/10 ・施設ケアマネ研修会 7/12 ・職種別研修「給食部会」 7/12 ・職種別研修「介護部会」 7/17 ・青森県認知症介護実践者研修 7/22・23 ・医療的ケア履修者演習前講座基本研修「演習」7/25・26	7/10 ・新人研修①「看護職の役割と責任/社会人基礎力を身につける」 受講者 横濱夕綺
8 月	吉幸会 「ケアマネ部会」研修 8/23	・青森県認知症介護実践者研修 8/1・2	
9 月	吉幸会研修：インストラクターステージ研修 9/24	・技能実習責任者講習 9/3 ・吉幸会スキルアップ研修 インストラクターステージ研修 9/24 ・認知症介護基礎研修 9/26	9/21 ・准看護師対象研修「看護記録を学ぼう」 受講者 横濱夕綺 9/27 ・介護サービス情報の公表制度に係る研修 受講者 澤田朱音
10 月		・青森県認知症介護実践者研修報告会 10/25 ・メンター育成研修 10/30	10/4 ・福祉サービス苦情解決関係者等研修会 受講者 近藤仁美 10/9 ・介護サービス情報の公表制度に係る研修 受講者 久末時子 10/15～17 ・法人内交換研修（能舞の里） 受講者 澤田朱音
11 月		・吉幸会スキルアップ研修 アクションステージ 研修 11/26 ・八戸地域介護サービス協議会栄養士部会研修 11/7 ・認知症介護基礎研修 11/26 ・技能実習指導員講習 11/28 ・技能実習生生活指導員講習 11/29	11/17 ・青森県感染症対策特別研修 受講者 四戸知佳子 11/26 ・アクションステージ研修 受講者 横濱夕綺

12 月			
1 月	グループホーム協議会「コンプライアンス・虐待防止セミナー」 2/20		
2 月			
3 月			3/19 ・講演「病前情報を基にした目標設定と自立支援-HAL腰タイプによる早期治療効果」 講師 青森慈恵会病院リハビリテーション部 部長佐々木 潤氏 受講者 横濱夕綺、四戸知佳子 3/20 ・認知症介護基礎研修（6名受講）

⑧外部研修の受講状況

	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野	居宅（みろくの郷）
4 月			
5 月			
6 月	・安全管理対策担当者養成研修 6/7 ・認知症サポーター養成講座 6/26		「拒否・依存・攻撃・・・その時どうする？精神科医からのアドバイス」
7 月	・吉幸会「グローイングステージ研修」7/17 ・吉幸会職種別研修「給食部会」7/12 ・青森県喀痰吸引等研修 7/1, 23, 24 ・安全衛生推進者養成講習会 7/30, 31	・吉幸会「グローイングステージ研修」7/17 ・吉幸会職種別研修「給食部会」7/12	「令和 7 年度 介護テクノロジー展&実践事例から学ぶ業務改善セミナー」
8 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」8/23	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」8/23	社会福祉法人吉幸会 法人内研修（ケアマネ部会）「適切なケアマネジメント手法」について
9 月	・青森県喀痰吸引指導者の伝達講習 9/9 ・吉幸会「インストラクターステージ研修」9/24 ・介護サービス情報の公表制度「10 の研修テーマ」 A コース 9/27	・吉幸会「インストラクターステージ研修」9/24 ・介護サービス情報の公表制度「10 の研修テーマ」 A コース 9/27	主任介護支援専門員スキルアップ研修「みんなで考えよう！課題分析標準項目を実践するために」
10 月	・介護サービス情報の公表制度「10 の研修テーマ」 B コース 10/4 C コース 10/9 D コース 10/25	・介護サービス情報の公表制度「10 の研修テーマ」 B コース 10/4 C コース 10/9 D コース 10/25	八戸圏域連携中核都市圏 高齢者福祉に関する理解促進事業 令和 7 年度高齢者福祉合同研修会 「死にゆく人の心に寄り添う～スピリチュアルとは～」
11 月	・吉幸会「アクションステージ研修」11/26	・吉幸会「アクションステージ研修」11/26	「在宅のケアマネジメントで行う家族支援の基本～事例と支援者の思考プロセスを通じて考えよう～」
12 月			令和 7 年度 認定調査従事者現任研修
1 月	・青森県喀痰吸引実地研修	・青森県認知症介護基礎研修 1 月	八戸地域保健医療圏域における病院とケアマネジャーの入退院の調整ルールの手引き改定に係る説明会
2 月	・ケアプランデータ連携システム勉強会 2/12		令和 7 年度 住宅改修・福祉用具アドバイザー事業研修会
3 月	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」3/19	・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」3/19	社会福祉法人吉幸会 法人内研修（ケアマネ部会）「適切なケアマネジメント手法」について

⑨外部研修の受講状況

	ゆうなぎの里	しおさい岬
4 月		・吉幸会新任相談員研修 4/5 ・吉幸会新任施設長研修 4/22 ・吉幸会研修委員会会議 4/26
5 月		・吉幸会施設長会議 5/9 ・介護施設における安全対策担当者養成研修（オンライン） 5/28 ・吉幸会研修委員会会議（オンライン） 5/31
6 月		・吉幸会研修委員会会議 6/11
7 月	・職種別研修会「給食部会」 7/12 ・法人研修「グローイングステージ」 7/17	・職種別研修会「給食部会」 7/12 ・吉幸会グローイングステージ研修 7/17 ・認知症ケア（オンライン） 7/17
8 月		・吉幸会研修委員会会議 8/6 ・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」 8/23
9 月	・ICT 体験フェア 9/3	・吉幸会研修委員会会議 9/10 ・吉幸会インストラクターステージ研修 9/24 ・「10 の研修テーマ」に係る研修会 9/27
10 月	・令和 6 年度福祉サービス 苦情解決関係者等研修会 10/4 ・青森県社協「10 のテーマ」 10/4 10/9 ・緩和ケアについて 10/25	・「業務継続計画未策定減算」と「机上訓練」に関する研修（オンライン） 10/2 ・「10 の研修テーマ」に係る研修会 10/4 ・吉幸会研修委員会会議 10/8 ・「10 の研修テーマ」に係る研修会 10/9 ・高齢者虐待・身体拘束を弁護士が徹底解説（オンライン） 10/18 ・「10 の研修テーマ」に係る研修会 10/25 ・令和 6 年度 第 1 回大間病院看護部研修会 10/25 ・加算算定の重要性和押さえるべきポイント（オンライン） 10/31
11 月	・法人フェス「2024 福祉フェス」 11/9 ・北通り地区における保健・医療・福祉の 関係職種 11/21 ・法人研修「アクションステージ」 11/26 ・R6 年度地域保健関係者研修 「感染症対策」 11/27	・吉幸会研修委員会会議 11/5 ・2024 福祉フェス in のへじ 11/9 ・ユニットリーダー研修（オンライン） 11/12～13 ・吉幸会施設長会議 11/14 ・ユニットリーダー研修（実地研修） 11/26～29 ・吉幸会アクションステージ研修（初級） 11/26
12 月		・吉幸会研修委員会会議 12/10
1 月		・認知症介護基礎研修（オンライン） 1/24
2 月	・むつ保健所管内給食施設栄養管理指導事業 2/26	・認知症介護基礎研修（オンライン） 2/7 ・感染対策に係る研修会 2/25
3 月		・認知症介護基礎研修（オンライン） 3/10 ・介護事故を防ぐためのリスク管理（オンライン） 3/14 ・吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」 3/19

⑩外部研修の受講状況

	能舞の里	いちいの森	佐井村保育所
4 月	・本部研修委員会〈オンライン〉4/26（金）〈主任〉		
5 月	・施設長会議、研修〈法人本部、東奥日報社八戸ビル〉5/9（木）〈施設長〉 ・本部研修委員会〈オンライン〉5/21（火）〈主任〉 ・科学的介護推進体制加算〈LIFE〉研修5/23（木）〈主任〉		・研修委員会(5/13) ・発達相談連絡協議会(5/16) ・職種別研修チームミーティング (5/21)
6 月	・本部研修委員会〈ひだまり〉6/11（火）〈主任〉		・むつ支部主任部会(6/4) ・むつ支部 3 歳児部会(6/13) ・青森県保育研究大会(6/17) ・むつ支部子育て支援部会(6/18) ・むつ支部 5 歳児部会(6/19) ・むつ支部施設長部会(6/25) ・煙火講習(6/26) ・むつ支部給食部会(6/27)
7 月	・外国人技能実習生 N2、N1 受験〈青森中央学院大学〉7/7（日）〈シスカ・マヤン〉 ・本部研修委員会〈オンライン〉7/18（木）〈主任〉 ・法人給食部会（野辺地ホーム）7/12（金）〈主任・長谷川栄養士〉 ・法人グローイングステージ研修〈法人本部、東奥日報社八戸ビル〉7/17（水）〈川端諒・三國〉	7/12 吉幸会職種別研修「給食部会」	・子ども発達相談連絡協議会(7/1) ・佐井村学校保健会(7/4) ・吉幸会施設長会議(7/30)
8 月	・本部研修委員会〈みろく苑〉8/6（火）〈主任〉	8/23 吉幸会職種別研修「ケアマネ部会」	・むつ支部主任部会(8/6)
9 月	・口腔ケア・オーラルフレイル予防事業9/10（火）〈県歯科衛生士会 蛭澤〉 ・法人技能実習生交流会〈佐井村〉9/15（日）〈シスカ・マヤン・ハリマ〉 ・雇用管理責任者講習〈県総合社会教育センター〉9/17（火）〈施設長〉 ・外国人技能実習生弁論大会〈フォレスト仙台〉9/22（日）〈ヴィナ〉 ・法人インストラクターステージ研修〈法人本部、東奥日報社八戸ビル〉9/24（火）〈吉田・菊池〉 ・管理栄養士免許取得講座開始〈全 22 回〉9/25（水）〈長谷川〉	9/3 ICT 機器展示会（2 名） 9/14 AED 研修（3 名）	

10 月	・本部 LIFE 研修〈野辺地ホーム〉10/4(金)〈主任〉 ・本部研修委員会〈ラ・メール白山台〉10/8(火)〈主任〉 ・外国人技能実習生専門試験合格 10/10(木)〈シスカ・マヤン〉 ・雇用管理責任者講習〈県総合社会教育センター〉10/10(木)〈施設長〉 ・介護従事者研修会〈県立中央病院〉10/12(土)〈石田 R〉 ・法人職員交換研修〈野辺地ホーム〉10/15(月)～18(金)〈菊池〉 ・ユニットリーダー実地研修〈社会福祉法人 素心の心〉10/22(火)～25(金)〈野々宮 FC〉 ・メンター育成研修〈県民福祉プラザ〉10/30〈野々宮 FC〉 ・外国人技能実習生初級試験合格 10/31(木)〈ハリマ・ヴィナ〉 ・口腔衛生指導〈田中歯科クリニック〉10/31(木)〈鞍馬ユニット〉	10/30 メンター育成研修	・給食・食育研修会(10/16) ・法人施設長会議(10/23) ・教育支援委員会食育研修会(10/31)
11 月	・施設長会議、研修〈法人本部、東奥日報社八戸ビル〉11/7(木)〈施設長〉 ・法人福祉フェスティバル〈野辺地中央公民館〉11/9(土)〈主任他 5 名〉		・施設長部会(11/6) ・吉幸会施設長会議(11/7)
12 月	・本部研修委員会〈オンライン〉12/10(火)〈主任〉		・教育後援会(12/9) ・生産性向上研修会(12/13) ・要保護児童対策地域協議会(12/16)
1 月	・本部研修委員会〈オンライン〉1/14(火)〈主任〉		・むつ支部施設長・主任研修(1/8) ・教育支援委員会(1/16) ・ICT 業者説明会(1/22) ・佐井村子ども子育て会議(1/27)
2 月	・外国人技能実習指導員講習〈青森市アスパム〉2/13(木)〈野々宮 FC〉 ・本部研修委員会〈オンライン〉2/11(火)〈主任〉		・佐井小との情報交換会(2/28)
3 月	・管理栄養士国家試験〈仙台市卸商センターサンフェスタ〉3/2(日)〈長谷川〉 ・65 歳超雇用推進助成金セミナー〈ホテル青森〉3/17(月)〈施設長〉 ・本部第 2 回ケアマネ部会研修会〈野辺地ホーム〉3/19(水)〈主任〉 ・口腔衛生管理指導〈田中歯科クリニック〉3/25〈三番叟ユニット〉		

⑪主な会議・委員会等の実施状況

	みろく苑	ひだまり	野辺地ホーム	ラ・メール白山台	ラ・メール小中野
各種会議の実施	職員会議（月１回） 主任会議（月２回） 給食会議（月１回） 各部署会議（毎月） 各部署ケース会議（月１回） 運営推進会議（GH 苑・GH 郷 各年 6 回）	職員会議（月１回） リーダー会議（月１回） 給食会議（月１回） カンファレンス〈各ユニット月１回〉 ケース会議〈各ユニット 6 か月に 1 回〉 運営推進会議（年 6 回）	運営会議（月１回） 給食会議（月１回） ケア会議（月１回） 職員全体会議（月１回）	職員会議（月１回） リーダー会議（月１回） 給食会議（月１回） カンファレンス（週 1 回） ケース会議 運営推進会議（年 6 回）	職員会議（月１回） リーダー会議（月２回） 給食会議（月１回） カンファレンス（月 3 回） 運営推進会議（年 6 回）
各委員会の設置	生産性向上委員会 感染対策委員会（月１回） 褥瘡対策委員会（3 ヶ月に 1 回） 事故防止委員会（3 ヶ月に 1 回） 身体拘束廃止委員会（随時） 行事係 広報係 環境係 入所検討委員会 入所判定委員会 衛生委員会	感染対策委員会（月１回） 褥瘡防止委員会（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） ヒヤリハット委員会（月１回） 環境整備委員会（月１回） 広報委員会（月 1 回） 研修委員会（月 1 回） 入所判定会議（随時）	感染症拡大防止委員会（3 ヶ月に 1 回） 虐待、身体拘束廃止委員会（3 ヶ月に 1 回） 事故防止委員会（3 ヶ月に 1 回） 医療的ケア委員会（3 ヶ月に 1 回） 入所判定会議（随時） 苦情処理委員会（随時） 褥瘡防止委員会（随時）	感染対策委員会（月１回） ヒヤリハット委員会（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 入所判定委員会 研修委員会（月１回） 褥瘡防止委員会（月１回）	感染対策委員会（月１回） ヒヤリハット委員会（月１回） 身体拘束廃止委員会（月１回） 入所判定委員会 研修委員会（月１回） 褥瘡防止委員会（月１回）

	ゆうなぎの里	しおさい岬	能舞の里	いちいの森	佐井村保育所
各種会議の実施	全体会議（月１回） 運営会議（月１回） 給食会議（月１回） ユニット会議 （月１回） 栄養会議（月１回）	全体会議（月１回） 運営会議（月１回） エット会議（月１回） 給食会議（月１回） サービス担当者会議 （随時） 運営推進会議 （年６回）	全体会議（第４木曜） 運営会議（第２木曜） リーダー会議（第２木曜） 給食会議（第２木曜） 介護職員会議（第３木曜） ユニット会議（第３木曜） 合同施設長、主任会議 （随時開催）	職員全体会議 （月１回） 運営会議（月１回） 給食会議（月１回） 運営推進会議 （年３回） 介護職員会議 （月１回）	保育懇談会・父母の 会総会 村赤十字総会 職員会議 保育会議 父母の会役員会 学校保健会情報交換 会 ケース検討会議 研修委員会 発達相談連絡協議会 むつ支部３歳児部会 むつ支部給食部会 子ども発達相談連絡 協議会 佐井村学校保健会 給食・食育研修会 教育支援委員会食育 研修会 要保護児童対策地域 協議会 教育支援委員会
各委員会の設置	感染対策委員会 （３ヶ月に１回） 褥瘡対策委員会 （３ヶ月に１回） 事故防止委員会 （３ヶ月に１回） 身体拘束廃止委員 会 （３か月に１回） 虐待防止委員会 （３ヶ月に１回） 行事・環境美化委員 会 （随時） 入所判定委員会 苦情処理委員会	感染予防・褥瘡対策 委員会（３ヶ月に１回） 虐待防止員会（月１ 回） 事故防止委員 （３ヶ月に１回） 身体拘束廃止委員会 （月１回） 行事・環境委員会 （随時） 入所判定委員会 苦情処理委員会	感染予防委員会 （３か月に１回） 褥瘡予防委員会 （３か月に１回） 事故防止委員会 （３か月に１回） 身体拘束防止委員会 （３か月に１回、対 象者有、毎月１回） 虐待防止委員会 （随時開催） 評価対策、業務改善 〔排泄〕委員会 （３か月に１回） 広報委員会 （年２回広報誌発行） 研修委員会 （全体会議後の内部研修） 行事委員会 （施設行事日程調整 及び食材確保） 生産性向上委員会 （能舞の里・いちい の森合同での定期開 催） 入所判定委員会	感染予防委員会 （３ヶ月に１回） 褥瘡対策委員会 （３ヶ月に１回） 事故防止委員 （月１回） 身体拘束廃止委員会 （月１回） 業務改善委員会 研修委員会 行事委員会 入所判定委員会	

⑫法人の取り組み

＝委員会の活動＝

- 研修委員会開催状況（毎月1回）年12回
- 衛生委員会（3ヶ月1回）年4回
- OJT委員会（毎月1回）年12回

＝法人内研修等＝

- スキルアップ研修（各階層ステージで年1回実施）
 - ・トレーニングステージ研修（新任職員研修）※各事業所にて実施
 - ・アクションステージ研修 1/27
 - ・グローイングステージ研修 7/23
 - ・インストラクトステージ研修 9/26
- 全体研修・事例発表 2/26
 - ・「介護業界の新しい世界とこれから向かう方向」
- 職種別研修（7部会のうち4部会において研修実施）
 - ・看護部会「感染症発生時の対応」8/22
 - ・給食部会「栄養ケアマネジメントと統一献立について」2/4
 - ・保育部会「ティーチャーズ・トレーニングフォローアップ」9/1
 - ・介護部会「ポジショニングについて」10/28・29・30
- 交換研修 各拠点施設の職員を交換し、一定期間研修を実施 10/14～17 9名参加
- 相談員 LABO の開催（毎月1回）年12回

＝資格取得支援＝

- 介護支援専門員養成講習（6月～10月）
 - ・研修委員会による養成講習
 - ※講習受講者3名
 - ※法人内受験者8名—合格者2名
- 介護福祉士実務者研修 6/1～11/30
 - ・株式会社 JMTc と連携協力による実施
 - 受講者8名（法人内4名、法人外4名）
- 介護福祉士受験支援
 - ・研修委員会による支援（実技試験対策及び受験関連情報の提供）
 - ※法人職員合格者数 5名
- 管理栄養士養成（9月～12月）
 - ・青森中央短期大学による管理栄養士免許取得のための勉強会及び模擬試験
 - ※受講者2名
 - ※受験者2名—合格者0名

＝福利厚生事業＝

- 介護福祉士受験資格取得支援貸与事業の実施
- 実習生交流会 夏 9/15～16（12名参加） 冬 3/5～6（18名参加）
- 茶道体験会を2回実施（8名参加）

＝地域貢献活動＝

- 日本財団「夢の貯金箱」チャリティー自動販売機設置 全10台
（ゆうなぎの里3台、しおさい岬2台、いちいの森1台、ひだまり2台、野辺地ホーム2台）
- 24時間テレビ協賛 テレビCM放映 8/20から8/30（15本）
 - ※福祉、環境、災害復興支援募金への協賛
- 2025 ラジオチャリティミュージックソン広告協賛 ラジオ放送 12/24～12/25
 - ※音の出る信号機設置基金への協賛
- 福祉フェス in のへじの開催 10/4
野辺地町が後援、社会福祉法人福祉の里、社会福祉法人野辺地町社会福祉協議会と共催